FOOD MACHINES INTERNATIONAL

エスプレッソコーヒーマシン「ビストロ」

LA CIMBALI

お客様用

ー取扱説明書ー

型式：M32BI-DT/2(S)
（業務用）

- このたびは、当社のエスプレッソコーヒーマシン「ビストロ」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

目　次

本機をお使いになる前に　1

安全上のご注意 …… 1
本機の使用にあたって
必ず守ってください …… 2・3
各部の名称とはたらき
本　体 …… 4・5
操作スイッチパネル …… 6・7

第1章　使用前の準備　8

本機の操作時には必ず守ってください … 8・9
電源を入れる前に …… 10
電源の入れかた …… 10・11

第2章　各メニューの抽出のしかた　12

各メニューの抽出のしかた …… 12〜15
次の抽出をするときには …… 15
熱湯の出しかた …… 16
蒸気をつかって飲料を温める …… 17〜19

第3章　洗浄・清掃のしかた　20

本機の洗浄・清掃時には
必ず守ってください …… 20・21
毎日必ずおこなう洗浄と清掃の一覧 …… 22

営業中に随時おこなってください
蒸気ノズルの洗浄 …… 23

終業時に毎日おこなってください
エスプレッソ抽出器の洗浄 …… 24〜26
熱湯ノズルの洗浄 …… 27
ドレンプレート、ドレンパンの洗浄 …… 28

週に2〜3回おこなってください
本体外装の清掃 …… 29

第4章　お手入れと点検　30・31

第5章　プログラム設定について　32

タイマー機能と抽出回数の管理 …… 32〜43
コーヒー抽出プログラムの設定 …… 44〜51

第6章　据付けについて　52

据付け時の注意事項 …… 52・53
据付工事 …… 54〜57
据付け …… 58〜61
点検について …… 62
仕　様 …… 63
商品保証書 …… 65

本機をお使いになる前に

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

⚠ **警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

【図記号の例】

感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

本機の使用にあたって必ず守ってください

⚠警告

●漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動したときは、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。

●異常時は電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF(切)』にしてすぐにお買上げ店に連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。

●機械内部の電気装置や配線に触らないこと

やけどや感電の恐れがあります。

●お使いのガス器具などがある場合、ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること

引火爆発し危険です。

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災の原因になります。

●改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。

●移設は専門業者か、お買上げ店に相談すること

据え付け不備があると、水漏れ、感電、火災などの原因になります。

●廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

本機の使用にあたって必ず守ってください

⚠ 注意

●本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

禁止

●可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと

発火の原因になることがあります。

可燃物禁止

●本体にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや製品転倒によるケガの原因になります。

禁止

●点検するときは、必ず電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にすること

感電したり、ケガの原因になることがあります。

専用電源切

●電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁止

●一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にし、電源プラグを使用の場合は、コンセントから抜くこと

発熱、発火の原因になることがあります。

専用電源切

●漏電遮断器は月に１回、動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

動作確認

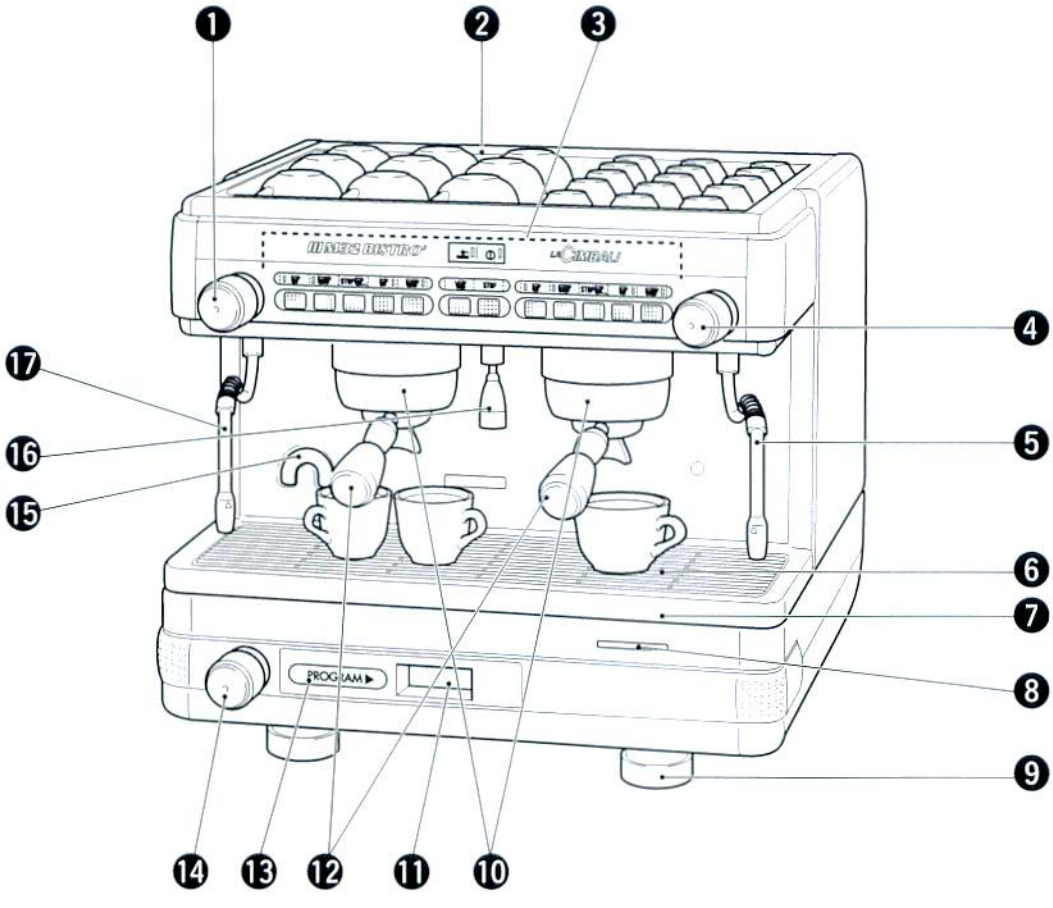
●本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

テープ止め

各部の名称とはたらき

●本機はエスプレッソを抽出するコーヒーマシンです。

本　体



各部の名称とはたらき

❶ 蒸気栓つまみ（左）
蒸気ノズル（左）から蒸気を出すとき回します。

❷ 天板／カップテーブル
コーヒーカップを置いて保温しておくスペースです。

❸ 操作スイッチパネル部
各メニューの抽出やプログラム設定をおこないます。（詳しくはP6・7を参照してください。）

❹ 蒸気栓つまみ（右）
蒸気ノズル（右）から蒸気を出すとき回します

❺ 蒸気ノズル（右）
蒸気がここから出ます。

❻ ドレンプレート
各メニューの抽出時にコーヒーカップを置くスペースです。

❼ ドレンパン
廃液を受けます。

❽ スマートカード挿入口
サービスマンが使用します。

❾ アジャスト脚
本体を水平にするために調整します。

❿ エスプレッソ抽出器
ここにエスプレッソ抽出容器をセットし、エスプレッソを抽出します。

⓫ プログラムディスプレイ
現在の機械の状態を表示します。
また、各種のメッセージやプログラムの設定内容を表示します。

⓬ エスプレッソ抽出容器
コーヒー粉をここにセットします。
エスプレッソがここから出ます。

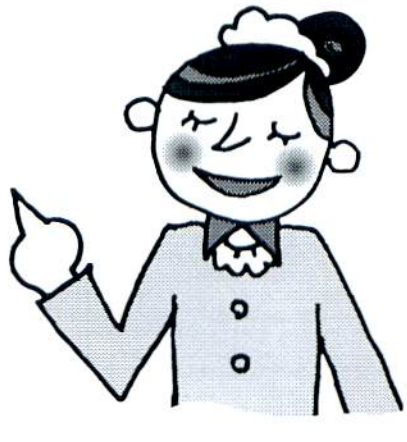
⓭ ディスプレイカバー
マグネットで本体にとめつけられています。取り外すとプログラム操作スイッチ部があらわれます。

⓮ 電源スイッチ
本体の電源をON/OFFにするスイッチです。

⓯ ボイラータンク用圧力計
ボイラータンク内の圧力を表示します。

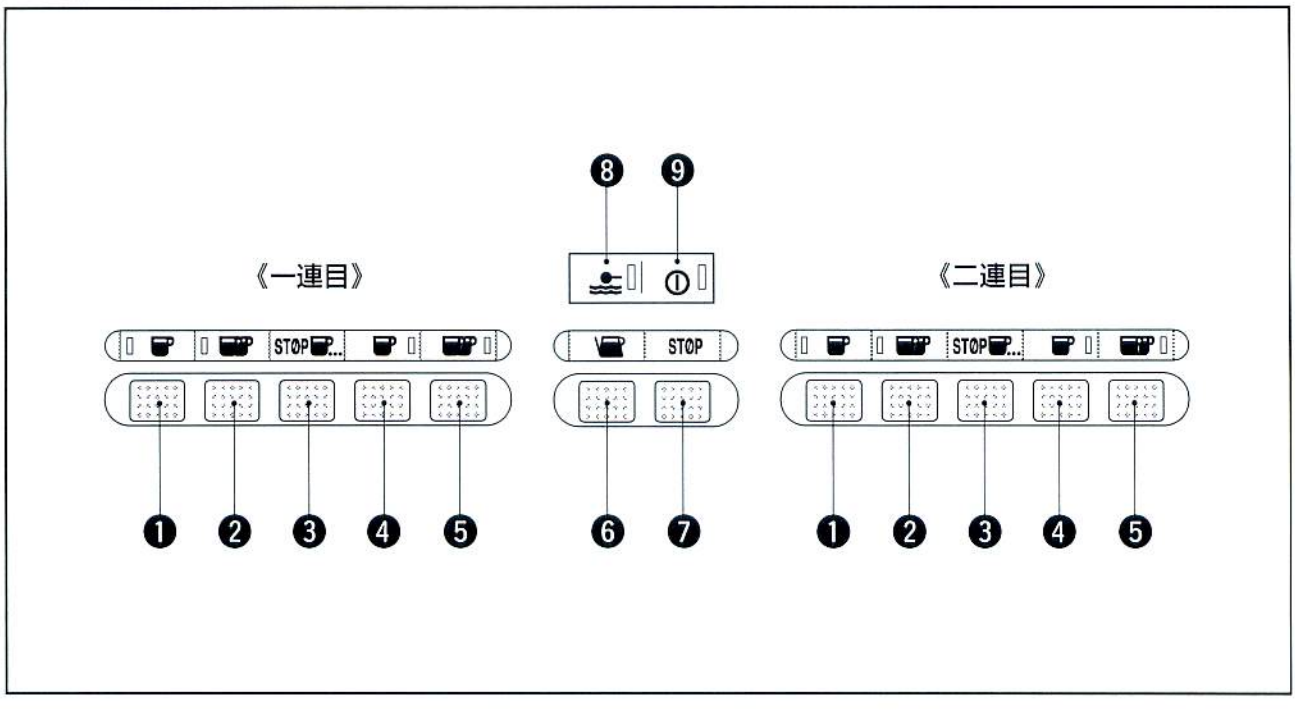
⓰ 熱湯ノズル
熱湯がここから出ます。

⓱ 蒸気ノズル（左）
蒸気がここから出ます。



操作スイッチパネル

メニュースイッチ部（エスプレッソ抽出スイッチ）



❶ イタリアンエスプレッソ（小）
1杯取りスイッチ

❷ イタリアンエスプレッソ（小）
2杯取りスイッチ

❸ スタート／ストップスイッチ
- 各メニューの抽出を途中で止める場合に押します。
- 任意の量のコーヒーを抽出する場合、このスイッチを押すと抽出が始まります。もう一度押すと止まります。

❹ イタリアンエスプレッソ（大）
1杯取りスイッチ

❺ イタリアンエスプレッソ（大）
2杯取りスイッチ

❻ 熱湯スイッチ
- 設定した時間、熱湯が出ます。工場出荷時は5秒間（約250mL）に設定されています。

❼ 熱湯ストップスイッチ（兼）
熱湯連続取出しスイッチ
- 熱湯を止める場合に押します。
- 熱湯を連続して出す場合、このスイッチを押すと熱湯が出続けます。もう一度押すと止まります。

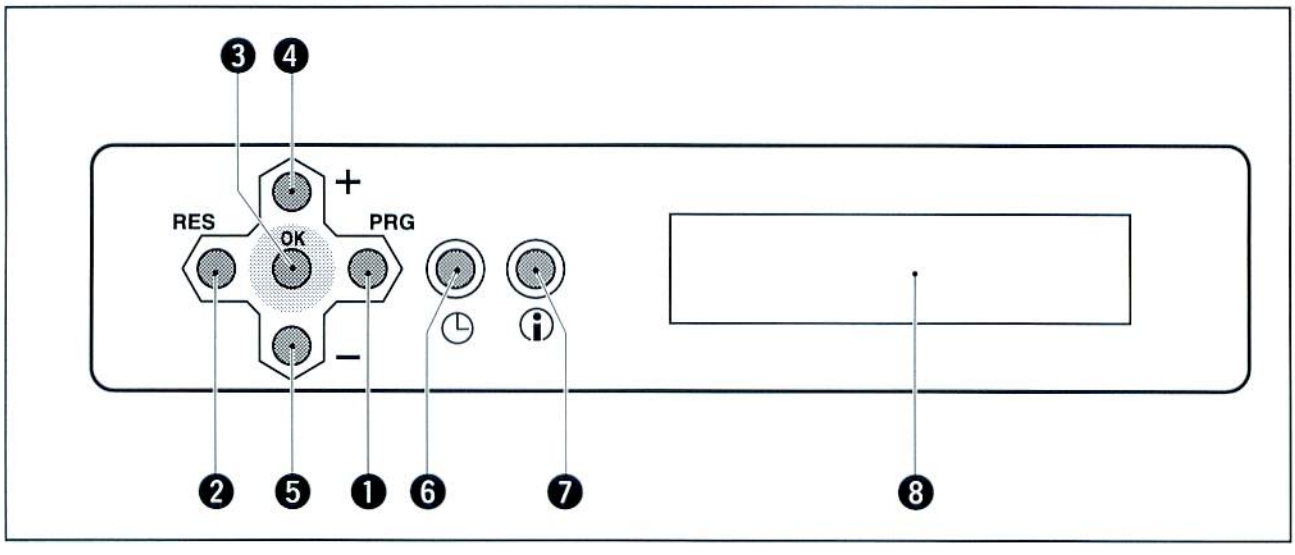
❽ ボイラータンク給水ランプ（橙色）
- ボイラータンクへ給水をおこなっているときに点灯します。

❾ 電源ランプ（黄色）
- 電源スイッチをONしたときに点灯します。

〈一連目〉〈二連目〉の各メニュースイッチは全て同じ働きをします。ただし、コーヒーの抽出量はそれぞれに設定を変更することが可能です。

各部の名称とはたらき

プログラム操作スイッチ部〈ディスプレイカバーを取り外してください〉



❶ プログラムスイッチ
- コーヒー抽出プログラムに入る時に使います。
- 各プログラム設定時、設定項目を選択します。

❷ リセットスイッチ
- プログラムモードを終了する時に使います。
- 各設定を変更している時、キャンセルする場合に使います。

❸ OKスイッチ
プログラム設定時、数値・設定内容を確定します。

❹ プラススイッチ
- 各設定をおこなう際、数値を大きくします。
  また、カーソルを上に移動するときに使います。
- 時計を分単位で進めます。

❺ マイナススイッチ
- 各設定をおこなう際、数値を小さくします。
  また、カーソルを下に移動するときに使います。
- 時計を分単位で戻します。

❻ タイマー設定スイッチ
タイマープログラム機能の設定をするときに使用します。

❼ 情報メニュースイッチ
プログラムディスプレイに抽出杯数を表示させます。

❽ プログラムディスプレイ
現在の機械の状態を表示します。
また、各種のメッセージやプログラムの設定内容を表示します。

1 使用前の準備

この章では本機を使用する前の準備について説明します。使用前には、専用電源と水道栓の確認、ボイラータンクへの給水と昇温の確認などをおこなってください。

本機の操作時には必ず守ってください

⚠警告

●濡れた手で本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）など電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

濡れ手禁止

●蒸気栓つまみを操作するときは、蒸気ノズルがドレンパンに向いているか確認すること

誤って蒸気栓つまみが回ると、やけどの原因になります。

ノズル確認

●蒸気ノズルを上げて作業した後は、忘れず元の位置（ドレンパンに向ける）に下ろしておくこと

誤って蒸気栓つまみが回ると、やけどの原因になります。

ノズル下ろす

●顔や手、または他人に蒸気ノズルを向けないこと

やけどの原因になります。

禁止

●コーヒー、蒸気、熱湯を取り出す場合、容器はドレンプレート上に置くこと

容器を手に持ったまま取り出すと、やけどの原因になります。

ドレンプレート

本機の操作時には必ず守ってください

⚠注意

●排水管に詰まりがないか始業時に点検をおこなうこと

排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。

排水点検

●断水のときは、電源スイッチを『OFF(切)』にし、水道栓を閉めること

開けておくと通水時“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。

断水時閉弁

●断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。

水入れ替え

●蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと

やけどの原因になることがあります。

接触禁止

●カップテーブルにカップを置くとき、カップの水分を十分に拭き取ること

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

水分禁止

電源を入れる前に

●本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を入れてください。
●水道の元栓を開けてください。

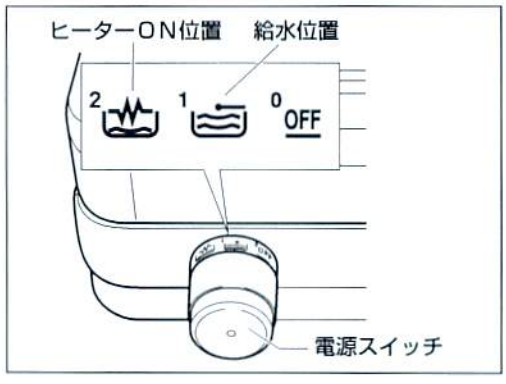
電源の入れかた

1 電源スイッチを「1」まで回し、給水をおこないます。

❶本体左下部にある『電源スイッチ』を"0"から"1"（給水位置）に回してください。

❷ボイラータンク内の水量が減っている場合は、ボイラータンク給水ランプ（橙）が点灯し、自動的に給水が始まります。

❸適量範囲まで給水すると、自動的に停止します。

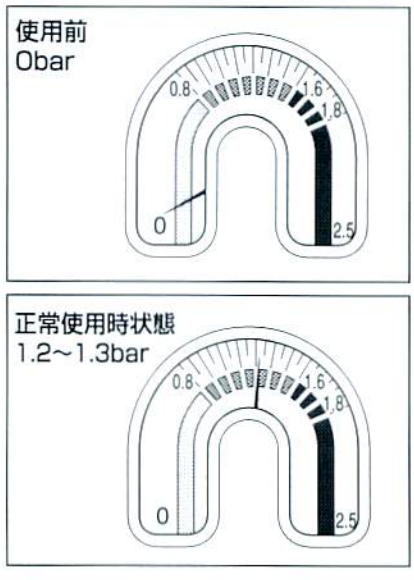


2 電源スイッチを「2」まで回し、ボイラータンク内の水を沸かします。

❶ヒーターに通電され、ボイラータンク内の水を沸かします。

❷ボイラータンク内の圧力が1.2～1.3barになるとウォーミングアップ完了です。
完了までに約15分間かかります。（時間は目安です。水温その他の条件により異なります。）

ボイラータンク用圧力計



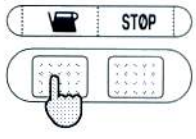
メモ

- ボイラータンク昇温中にエスプレッソ抽出スイッチを押しても、ディスプレイに「マシンコールド　タイキ　オマチクダサイ」と表示され、抽出しません。ウォーミングアップが完了するまでお待ちください。
- また、『スタート/ストップスイッチ』を押すと、動作はしますが、ぬるいコーヒーが抽出されます。ウォーミングアップが完了するまでお待ちください。

⚠ ボイラータンク内の圧力の適正範囲は1.2～1.3barです。異常に上昇して適正範囲外になるときは、危険ですからすぐに電源を切り、ご使用を中止してお買い上げ店にご連絡ください。

3 熱湯を出して、熱湯ラインに残っていた前日のお湯を排出します。

●排出したお湯の飛び散りを防ぐため、熱湯ノズルの下に空のカップを置き、『熱湯スイッチ』を押してください。



⚠ 熱湯の排出中は、やけどに注意してください。

カップの保温

天板部のカップテーブルにカップを並べて置いてください。ボイラータンクの余熱でカップが温まります。カップの水分は十分拭き取ってください。

2 各メニューの抽出のしかた

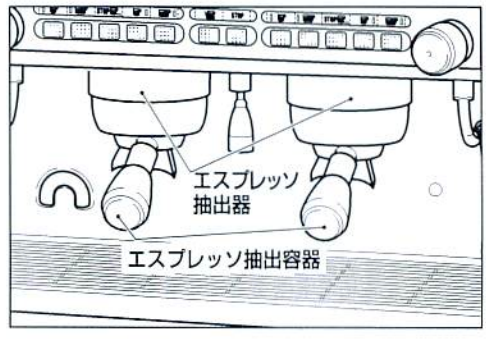
この章では、各メニューの抽出のしかたについて説明します。

各メニューの抽出のしかた

抽出のしかたは、1連目、2連目とも同じです。また、1連目と2連目で同時に抽出することができます。

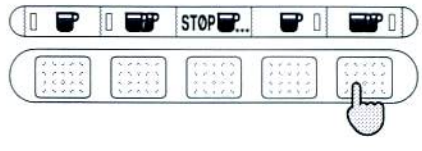
1 エスプレッソ抽出容器を温めます。

●エスプレッソ抽出容器が冷たいと、抽出したコーヒーがぬるくなります。
エスプレッソ抽出容器は、エスプレッソストレーナーを付けた状態であらかじめ抽出器にセットしておいてください。



エスプレッソ抽出容器が冷たい場合

●コーヒー粉を入れずに、エスプレッソストレーナーを付けたエスプレッソ抽出容器を抽出器にセットして『イタリアンエスプレッソ（大）2杯取りスイッチ』を押し、熱湯を出して温めてください。
この時、熱湯の飛びちりを防ぐためエスプレッソ抽出容器の下にカップなどを置いてください。

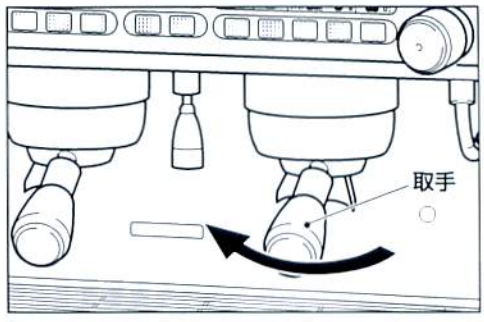


・2杯取りの抽出容器を温める場合

各メニューの抽出のしかた

2 コーヒー粉をセットします。

❶エスプレッソ抽出容器の取手を持ち、時計方向に回して抽出器から外してください。



❷エスプレッソストレーナーの中に抽出杯数に合わせた量のコーヒー粉を入れてください。

	ストレーナー	コーヒー粉	カップ数
1人分の場合	1人用	7g	1個
2人分の場合	2人用	14g	2個

● 当社のエスプレッソ専用ミルをご使用いただきますと、定量のコーヒー粉が簡単に取り出せます。

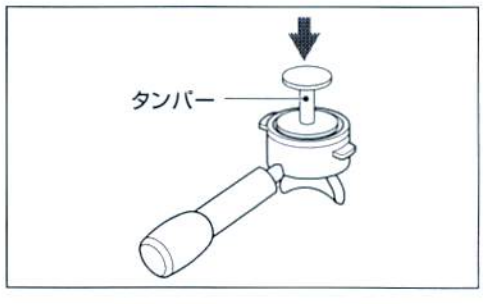
1人用エスプレッソストレーナー

2人用エスプレッソストレーナー

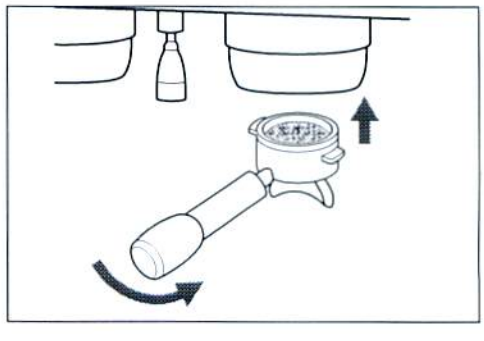
❸タンパーで粉を軽く押さえて、平らにしてください。

メモ

この時エスプレッソストレーナーのふちに付いたコーヒー粉を拭き取ってください。コーヒー粉がホルダーと本体との間に入ると適正な圧力がかからない可能性があります。

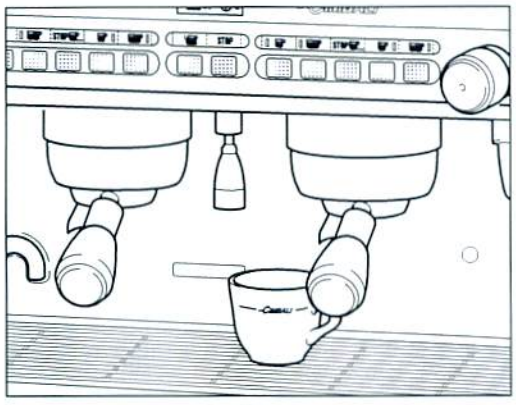


❹エスプレッソ抽出容器を左約40°の方向から抽出器にはめ込み、納まれば右方向に止まるまで回してセットしてください。

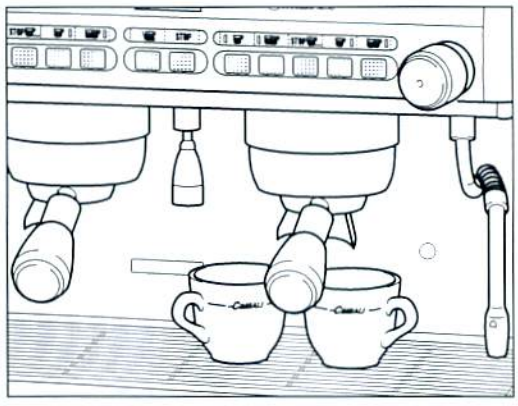


3 ドレンプレートの上にカップをセットします。

●ドレンプレートの上にカップを置いてください。



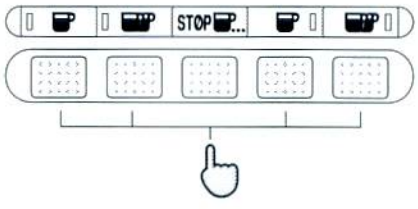
1人用の場合



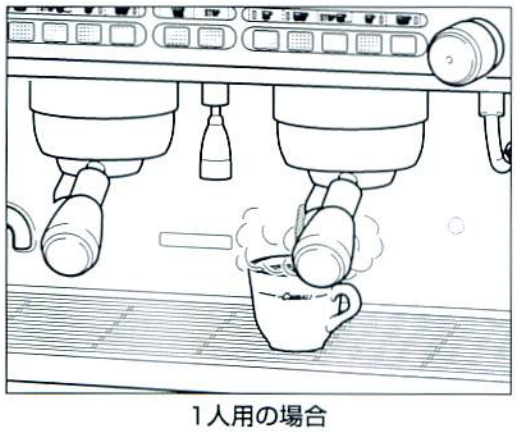
2人用の場合

4 メニューのスイッチを押します。

❶抽出するメニューのスイッチを押してください。



❷味合わせの際に設定した一定量のコーヒーが抽出され、自動的に止まります。
途中で抽出を止めたい場合は、『スタート／ストップスイッチ』を押してください。



1人用の場合

2人用の場合

❸抽出後のエスプレッソ抽出容器のコーヒーカスは、すぐに捨てずに抽出容器の保温のために次の使用時までそのままにしておいてください。

各メニューの抽出のしかた

任意の量のコーヒーを抽出する場合

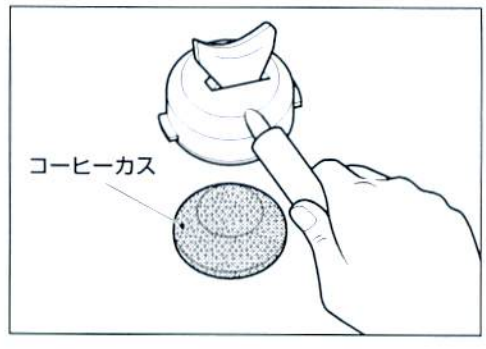
●任意の量のコーヒーを抽出する場合は、『スタート／ストップスイッチ』を使います。

●コーヒー粉をセットして『スタート／ストップスイッチ』を押すと抽出が始まります。お好みの量のコーヒーが出たら、もう一度『スタート／ストップスイッチ』を押して抽出を止めてください。

次の抽出をするときには

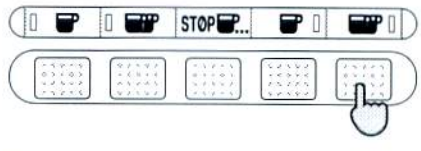
1 次の抽出をするときに、前回のコーヒーカスを捨てます。

● 抽出容器を取り外し、コーヒーカスを捨ててください。



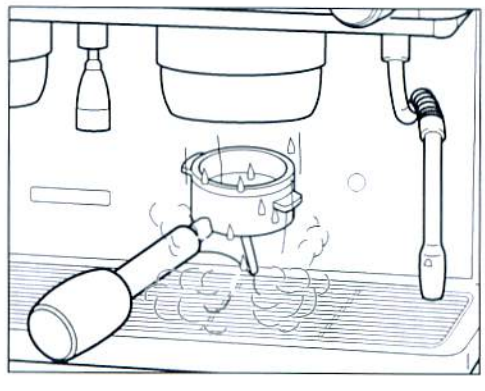
2 エスプレッソ抽出器と抽出容器を洗浄します。

● エスプレッソ抽出容器を外した状態のまま、『イタリアンエスプレッソ（大）2杯取りスイッチ』を押してください。



一定量の熱湯が出て、抽出器に付着したコーヒーカスが洗い流されます。
この時、エスプレッソ抽出容器を抽出器の下に出してすすぎ洗いをしてください。

⚠ 熱湯が手にかからないようにしてください。
やけどの原因になります。



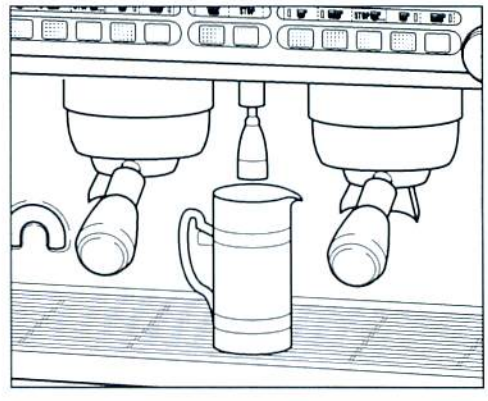
3 次の抽出をおこないます。

● コーヒー粉をセットして次の抽出をおこなってください。

熱湯の出しかた

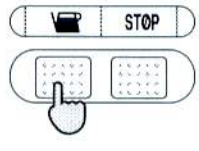
1 ドレンプレートにカップまたはポットをセットします。

熱湯ノズルの下に熱湯を取り出すカップまたはポットを置いてください。



2 『熱湯スイッチ』を押します。

- 『熱湯スイッチ』を押すと、味合わせの際にプログラム設定した一定の時間、熱湯が出て、自動的に止まります。
- 1秒間に約50mLの熱湯が出ます。
  工場出荷時、『熱湯スイッチ』は5秒（約250mL）に設定してあります。
- 抽出を途中で止めたい場合は『熱湯ストップスイッチ（兼）熱湯連続取出しスイッチ』を押してください。
- 熱湯を連続で取り出したい場合は、『熱湯ストップスイッチ（兼）熱湯連続取出しスイッチ』を押してください。
  止める場合は、もう一度『熱湯ストップスイッチ（兼）熱湯連続取出しスイッチ』を押してください。



⚠ 熱湯を出す場合は必ずドレンプレート上にカップを置いてください。
カップを手に持ったまま熱湯を出すとやけどの原因になります。

蒸気をつかって飲料を温める

●蒸気のつかい方は左右の蒸気ノズルとも同じです。

●蒸気を出すときは以下のことに注意してください。

⚠
- 蒸気ノズルの先がドレンパンに向いていることを確認してください。
- 蒸気ノズルの先端に人の手などがないか確認してください。
- 蒸気ノズルに装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。
- 蒸気を使ってミルクを温めた後は、もう一度蒸気を出して蒸気ノズル内のミルクを除去してください。そのままにしておくと蒸気ノズル内のミルクが固まり不衛生になります。また、故障の原因になります。

1 蒸気を出します。

❶蒸気ノズルの先がドレンパンに向いていることを確認してください。

❷初めに『蒸気栓つまみ』を反時計方向に回して蒸気配管内の結露水（熱湯）を抜いてください。

・蒸気を出す（反時計方向）

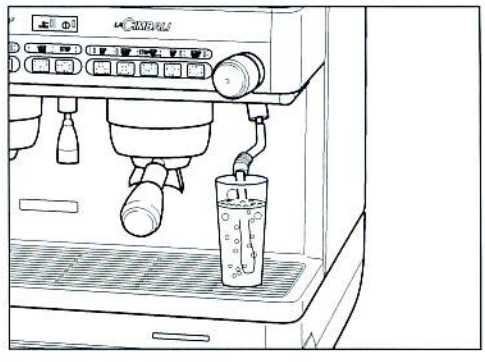
⚠ この時、熱湯が勢いよく飛び出しますので、ご注意ください。

❸蒸気が出るようになったら、いったん『蒸気栓つまみ』を時計方向に回して蒸気を止めてください。

・蒸気を止める（時計方向）

2 飲料を温めます。

❶蒸気ノズルの先を飲料の入ったコップの底まで入れ、ドレンプレートの上に置いてください。



⚠ 容器は耐熱性のあるものを使用してください。

❷『蒸気栓つまみ』を回して蒸気を出してください。素手でかるく触れてみて、お好みの温度になるまで温めてください。

3 蒸気を止めます。

❶『蒸気栓つまみ』を回して蒸気を止めてください。

❷蒸気ノズルの断熱ゴムの部分を持って蒸気ノズルをコップから出してください。

4 蒸気ノズルを清掃します。

❶もう一度蒸気を出してノズル内の付着した飲料を除去してください。

❷蒸気ノズルに付着した飲料を清潔な布で拭き取ってください。

泡立てミルクのつくりかたの例

〈ポイント〉
- ミルクポットは上部がすぼまっているものを使用します。
- ミルクはよく冷えているものを使用します。
- 温度は手のひらで覚えるか温度計を用います。

1. ミルクポットによく冷えたミルクを入れてください。
半杯分多めに入れてください。　1杯→1.5杯
2杯→2.5杯

1.

2. 蒸気を出します。
蒸気をつかって飲料を温める の手順 1 と同様にしてください。

3. ノズルの先端をミルクの表面より少し（3～5㎜）中に入れ蒸気栓を全開にしてください。
- ●蒸気栓を全開にしないとミルクに空気を取り入れることができず、ミルクが泡立ちません。
- ●蒸気の勢いで水面が少しへこみ、ノズルとミルクの間に隙間ができ、そこから空気が吸い込まれます。
（4秒前後／2杯分）

3.

4. 空気を抱き込んだら、ノズルの頭をミルクの中に完全に入れ撹拌してください。
- ●この時含んだ空気を蒸気が細かく分解します。

4.

ノズルの頭が隠れる程度

5. 65～70℃になったら、蒸気栓つまみを閉じてください。
- ●素手でかるく触れ、熱くて触れられないくらいの温度になったら出来上がりです。

5.

6. この段階ではミルク内に大きな泡を含んでいますので、ミルクポットを回し、テーブルなどに底をたたきつけて、大きな泡を消してください。

3 洗浄・清掃のしかた

本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください

⚠警告

●電源が入っていないとおこなえない洗浄以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを『OFF(切)』にして、本機専用電源も切ること

感電したりやけどの原因になることがあります。

●電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

●電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

●本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

●濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください

⚠ 注意

●一日の営業終了後は必ず接液部分および部品を洗浄すること

洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

洗浄

●エスプレッソ抽出器の洗浄には付属の酸素系漂白剤「テルキッチン」を使用すること

他の洗浄剤を使用すると、エスプレッソ抽出器、抽出容器のよごれが落ちないことがあります。

専用洗浄剤

●エスプレッソ抽出器の洗浄で、酸素系漂白剤を使った後は、必ずリンス（すすぎ）すること

リンスをおこなわないと漂白剤成分が残り、健康障害の原因になることがあります。

リンス

●付属の酸素系漂白剤は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと

健康障害の原因になります。

禁止

●付属の酸素系漂白剤は、お子様の手の届かない所に保管すること

誤って口に入れたり、飲み込まれますと、健康障害の原因になります。

洗浄剤保管

●蒸気を使用した後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること

洗浄しないと、雑菌が繁殖して健康障害の原因になることがあります。また、ノズル内に残ったミルク成分が固着して故障の原因になります。

洗浄

毎日必ずおこなう洗浄と清掃の一覧

本機は、毎日必ず以下の洗浄と清掃をおこなう必要があります。
洗浄と清掃をしないと、機械の故障や抽出されるコーヒーの品質が一定しない原因になります。また、機械内部に残ったコーヒーが腐敗し雑菌が繁殖して、健康障害の原因になることがあります。

●営業中に随時 おこなってください	• 蒸気ノズル（左、右）の洗浄	（P23参照）
●終業時に毎日 おこなってください	• エスプレッソ抽出器の洗浄	（P24～26参照）
	• 熱湯ノズルの洗浄	（P27参照）
	• ドレンプレート、ドレンパンの洗浄	（P28参照）

●週に2～3回 おこなってください	• 本体外装の清掃	（P29参照）

営業中に随時おこなってください

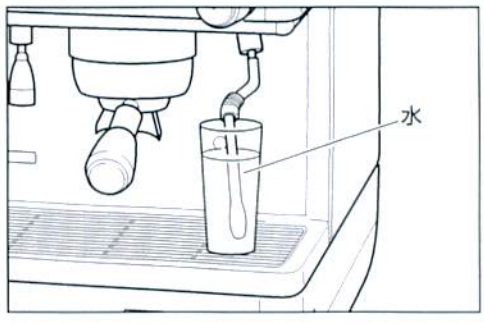
ここでは、営業中の必要な時に随時おこなう洗浄について説明します。

蒸気ノズルの洗浄

●ミルク等の飲料を蒸気ノズルを使用して温めた場合は、蒸気ノズルを洗浄してください。

1 蒸気ノズルの洗浄の準備をします。

●蒸気ノズルの先を約200mLの水を入れた容器の底まで入れて、ドレンプレートの上に置いてください。



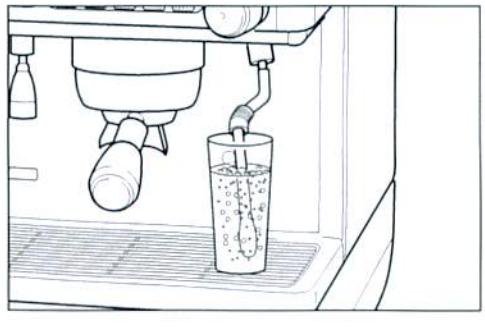
⚠ 容器は耐熱性のあるものを使用してください。

2 蒸気ノズルの洗浄をおこないます。

❶蒸気栓つまみを反時計方向に回すと、蒸気が出て、ノズル先端に詰まったミルクや付着液を洗浄します。

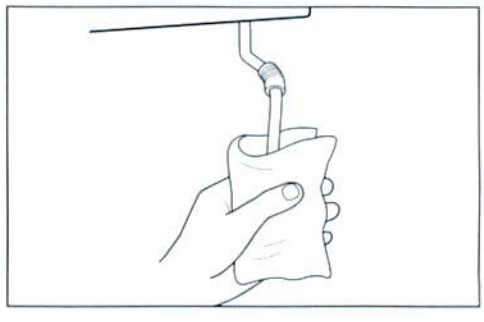
蒸気栓つまみ

❷蒸気が出始めて10秒程度たったら時計方向に回して蒸気を止めてください。



❸水を入れた容器からノズルを取り出し、もう一度蒸気を出して、ノズル内の水分を除去してください。

❹蒸気ノズルを清潔な布などで拭いてください。



⚠ 蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。
やけどの原因になることがあります。

終業時に毎日おこなってください

ここでは、終業時に必ずおこなう洗浄について説明します。終業時の洗浄には、『エスプレッソ抽出器の洗浄』、『熱湯ノズルの洗浄』、『ドレンプレート、ドレンパンの洗浄』があります。

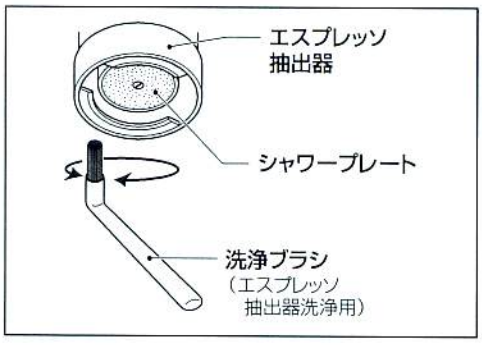
エスプレッソ抽出器の洗浄

1 エスプレッソ抽出容器を本体から外します。

●このとき、エスプレッソ抽出容器にコーヒーカスが残っていれば捨ててください。

2 シャワープレートを予備洗浄します。

❶付属の洗浄ブラシを使ってシャワープレート周辺に付着しているコーヒーカスを取り除いてください。

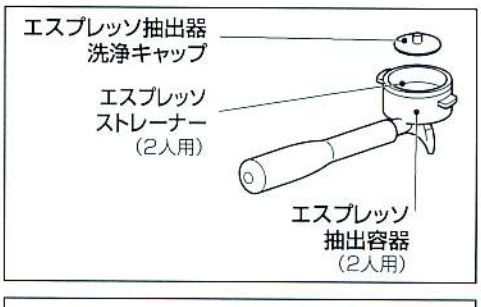


⚠ 熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないでください。やけどの原因になります。

❷『スタート／ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。止めるときはもう一度『スタート／ストップスイッチ』を押してください。

3 エスプレッソ抽出器内部を洗浄する準備をします。

❶エスプレッソ抽出容器（2人用）に2人用のエスプレッソストレーナーをセットしてください。



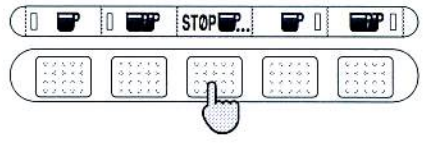
❷❶に、付属のエスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットしてください。

❸酸素系漂白剤「テルキッチン」、約4g（お手持ちのティースプーン山盛り1杯）を洗浄キャップの上に入れてください。

4 エスプレッソ抽出器内部を洗浄します。

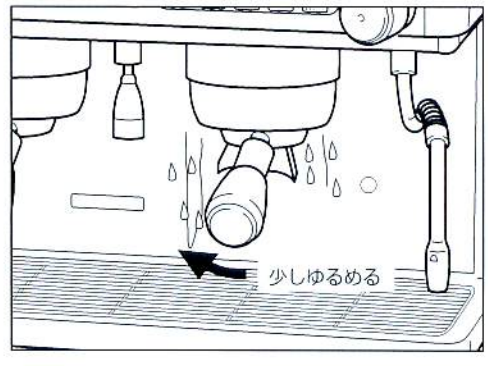
❶ 酸素系漂白剤を入れたエスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器にセットしてください。

❷『スタート／ストップスイッチ』を押して熱湯を出してください。



❸ 約5秒たったら、再度同じスイッチを押して熱湯を止めてください。抽出された熱湯がエスプレッソ抽出器内部に逆流して、酸素系漂白剤でコーヒーカスの詰まりやアクを取り除きます。

❹ エスプレッソ抽出器内に残った酸素系漂白剤の成分を洗い流すために『スタート／ストップスイッチ』を押してすすぎ洗いをしてください。止めるときはもう一度『スタート／ストップスイッチ』を押してください。すすぎ洗いは、洗剤成分が完全になくなるまで5～6回繰り返し熱湯を出しておこなってください。



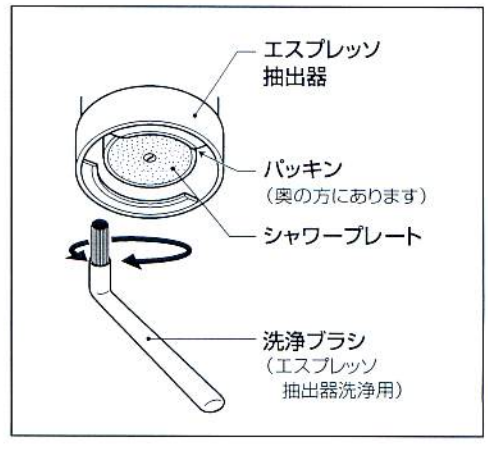
❺ その後、エスプレッソ抽出容器を少しゆるめて、同様に『スタート／ストップスイッチ』を押して十分すすぎ洗いをしてください。エスプレッソ抽出容器を少しゆるめることで、パッキンについたコーヒーカスを洗い流すことができます。

⚠ 酸素系漂白剤を使用して洗浄をおこなった後は十分にすすぎ洗いをしてください。
漂白剤の成分が残っていると健康障害の原因になることがあります。

5 エスプレッソ抽出器内のシャワープレート部を洗浄します。

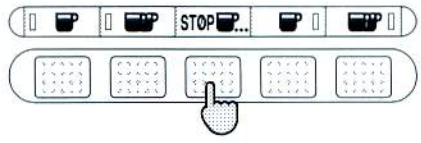
❶ エスプレッソ抽出容器を本体から外してください。

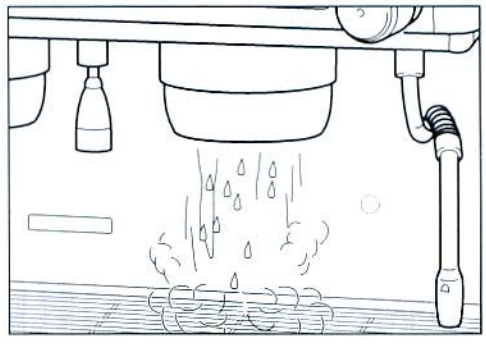
❷ エスプレッソ抽出器のシャワープレート、パッキンおよび周辺を、付属の洗浄ブラシを使って洗ってください。



⚠ 熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないでください。やけどの原因になります。

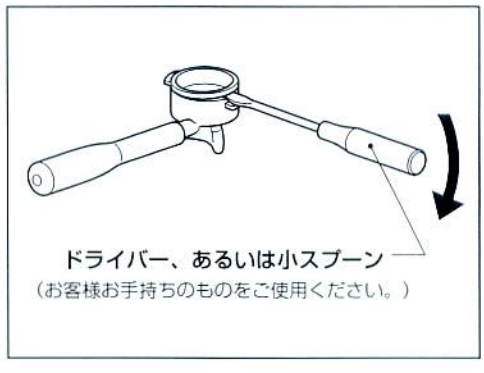
❸『スタート／ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、すすぎ洗いをしてください。止めるときはもう一度『スタート／ストップスイッチ』を押してください。





6 エスプレッソ抽出容器と各部品を洗浄します。

❶エスプレッソ抽出容器からエスプレッソ抽出器洗浄キャップ、エスプレッソストレーナーを外してください。
（エスプレッソストレーナーが固くて外れにくい場合は、右図のようにドライバーなどを使って外してください。）



❷エスプレッソ抽出容器、エスプレッソストレーナー、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをお手持ちの食器用中性洗剤を入れたぬるま湯でていねいに洗ってください。

❸その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❹乾いた清潔な布で水分を拭き取ってください。

❺エスプレッソ抽出容器にエスプレッソストレーナーを付けた状態で、保温のためエスプレッソ抽出器にセットしておきます。

熱湯ノズルの洗浄

1 熱湯ノズルの先端部分を取り外します。

❶ 熱湯ノズルの上の部分をしっかりと押さえ、熱湯ノズルの先端部分を時計方向に回して外してください。

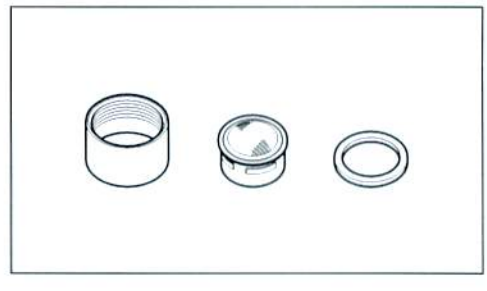
⚠ **使用後は熱湯ノズルが熱くなっている場合があります。熱くなっている場合は、水で濡らした布を使用して取り外してください。**

2 各部品を洗浄します。

❶ 先端部分の部品を分解して、水またはお湯でていねいに洗ってください。

❷ 乾いた布で水分を拭き取ってください。

❸ 各部品を組み立て、元通りに取り付けてください。



ドレンプレート、ドレンパンの洗浄

1 ドレンプレートを本体から取り外して洗浄します。

❶ ドレンプレートを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

❷ その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❸ 乾いた布で水分を拭き取ってください。

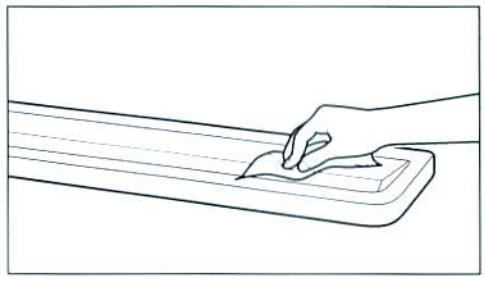
2 ドレンパンを洗浄します。

❶ ドレンパンを持ち上げるようにして本体から取り外してください。

❷ ドレンパンを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

❸ その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❹ 乾いた布で水分を拭き取ってください。

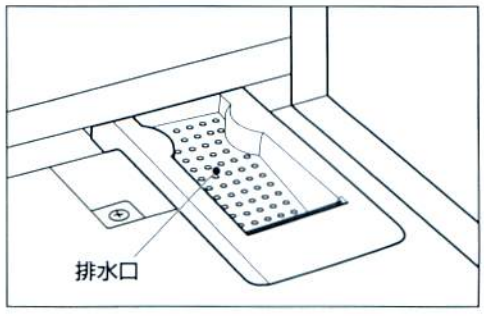


3 排水口を清掃します。

❶ 排水口を清掃してください。

❷ 水またはお湯を流して、排水口がつまっていないか確認してください。

❸ ドレンパンとドレンプレートを本体に元どおり取り付けてください。



週に2～3回おこなってください

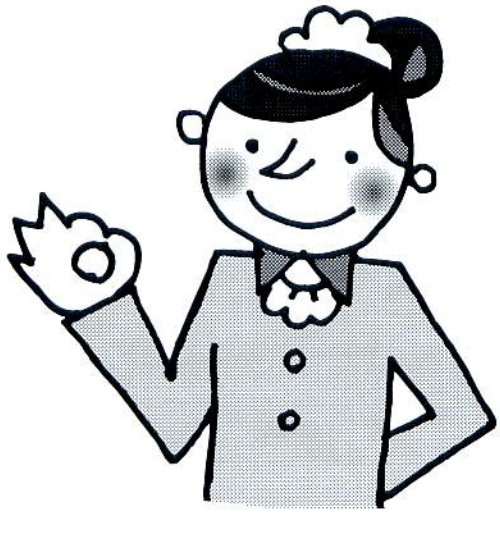
ここでは、週に2～3回、また、汚れが目立ったときにおこなう清掃について説明します。

本体外装の清掃

1 本体外装の清掃をします。

本体の外装は、中性洗剤を含ませた柔らかい布でていねいに拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。

⚠ 本体に直接水を掛けて洗わないでください。
漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。



4 お手入れと点検

この章では本機をお使いいただく上で、必要なお手入れと点検を一覧にして示しています。

毎日のお手入れと点検

1. 給排水管の点検	● 給排水管の接続部やバルブより水漏れや、配水管に詰まりがないか点検をおこなってください。 異常がある場合は、すぐにお買上げ店か専門業者に修理を依頼してください。
2. 蒸気ノズルの洗浄	● 蒸気ノズルは営業中に随時および、終業時に毎日洗浄をおこなってください。 第3章「洗浄・清掃のしかた」を参照して、洗浄をおこなってください。
3. エスプレッソ抽出器の洗浄	● 終業時には必ずエスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください。 第3章「洗浄・清掃のしかた」を参照して、エスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください。
4. 熱湯ノズルの洗浄	● 熱湯ノズルは、終業時に毎日洗浄してください。 第3章「洗浄・清掃のしかた」を参照して洗浄をおこなってください。
5. ドレンプレート、ドレンパンの洗浄	● ドレンプレート、ドレンパンは、終業時に毎日洗浄してください。 第3章「洗浄・清掃のしかた」を参照して洗浄をおこなってください。

週に2～3回のお手入れ

本体外装の清掃	本体の外装は、中性洗剤を使用し、柔らかい布でていねいに拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。 ⚠ 本体に直接水を掛けて洗わないでください。 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

定休日明け、断水後のお手入れ

水の入れ替え	断水後や、定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えてください。 ◆ ボイラータンク内の水抜きのしかた 1)『熱湯ストップスイッチ』を押して、熱湯を取り出し、廃棄してください。 2)『蒸気栓つまみ』を回して、約1分間蒸気を排出してください。

1ヶ月に1回点検

漏電遮断器動作確認	● 漏電遮断器は、１ヶ月に１回動作確認をおこなってください。 1）漏電遮断器のテストボタンを、指先などで押してください。 2）「OFF（切）」に切り換わるか確認してください。切り換われば正常です。レバーが「OFF（切）」に切り換わらない場合は、そのままの状態ですぐにお買上げ店へご連絡ください。 3）正常な場合は「ON（入）」にしてください。

1年に1～2回の点検

1．浄水器カートリッジの交換	● 半年から1年ごとに浄水器カートリッジを交換してください。 カートリッジの注文と交換のしかたは、お買い上げ店におたずねください。
2．アース線の点検	● アース線は、切れたり接続部がゆるんだりしていないか点検してください。 異常がある場合は、電気工事店に修理を依頼してください。
3．電源コードの点検	● 電源コードに異常な発熱や破損、重い物が乗ったり、挟み込まれたりしていないか点検してください。 異常がある場合は、すぐにお買上げ店か専門業者に修理を依頼してください。

5 プログラム設定について

●ディスプレイカバーを取り外してください。

タイマー機能と抽出回数の管理

ここではタイマー機能を使うためにおこなう各設定と、コーヒーの抽出回数の管理のしかたについて説明します。

「サービスジカン」メニューの設定項目

●タイマー機能の設定は、プログラムモードの「サービスジカン」メニューでおこないます。「サービスジカン」の設定項目には以下のものがあります。

ﾋﾂﾞｹﾄｼﾞｶﾝ	現在の曜日と時刻を設定します。
ｼﾞﾄﾞｳON	本体の電源が自動的に「ON」になり、ウォーミングアップ（昇温）する時刻を設定します。 設定時刻になると電源が入り自動給水と昇温動作を開始します。
ｼﾞﾄﾞｳOFF	本体の電源が自動的に「OFF」になる時刻を設定します。
ﾃｲｷｭｳﾋﾞ	定休日を設定します。 定休日に設定した日は、自動ON･OFFタイマーが機能しなくなります。

曜日と時刻の設定

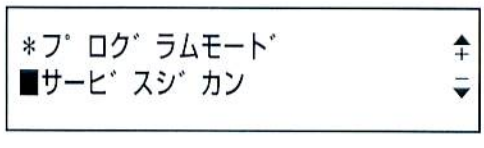
●現在の曜日と時刻を設定します。

1 本体が通常の状態であることを確認します。

プログラムディスプレイに右のような表示（曜日・時刻）が出ていることを確認してください。

2 プログラムモードに入ります。

タイマー設定スイッチを押してください。
プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。

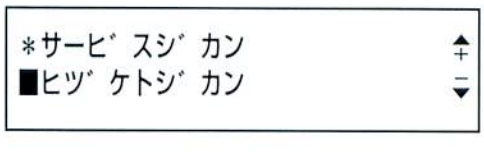


●お願い●

プログラムモードで「ITALIANO」「ENGLISH」など他の言語を選択しないでください。ディスプレイ表示される言語が変更されます。

3 曜日と時刻の設定画面に入ります。

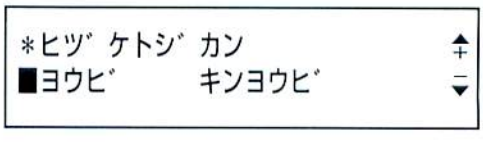
❶ プログラムスイッチ◉を押して「サービスジカン」を選択してください。プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。



「ヒヅケトジカン」には以下の設定項目があります。

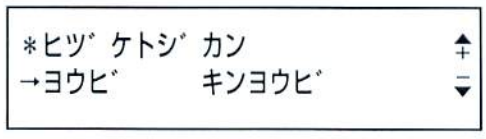
ヨウビ	曜日を設定します。
ジ	24時間制で時間の設定をします。
フン	分を設定します。

❷ プログラムスイッチ◉を押して「ヒヅケトジカン」を選択してください。プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。



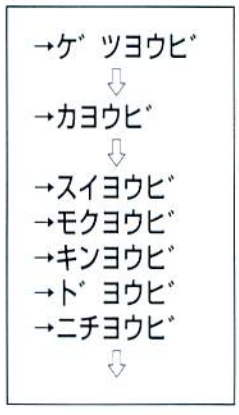
4 曜日を設定します。

❶ プログラムスイッチ ◉ を押すと、プログラムディスプレイのカーソル（■）が矢印（→）に変わります。

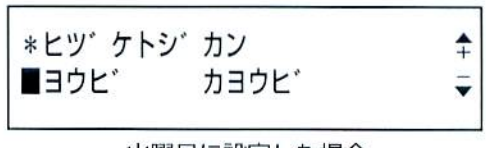


❷ プラススイッチ ◉ を押すごとに曜日が変わります。設定したい曜日が表示されるまでプラススイッチを押してください。
（マイナススイッチ ◉ を押すと、曜日が戻ります。）

1回押すごとに表示が右記のように変わります。



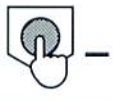
❸ 現在の曜日が表示されたらOKスイッチ ⓞⓚ を押して確定してください。
プログラムディスプレイの矢印（→）がカーソル（■）に戻ります。

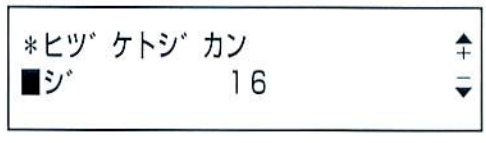


火曜日に設定した場合

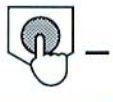
5 時間を設定します。

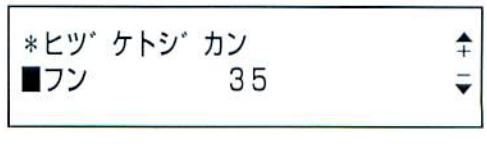
● マイナススイッチ ◉ を1回押すとカーソル（■）が1つ下の項目に移動します。
〔プラススイッチ ◉ を1回押すとカーソル（■）が1つ上の項目に移動します。〕



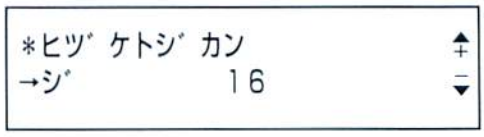


❶ 設定したい項目（この場合 “ジ”）を表示させてください。



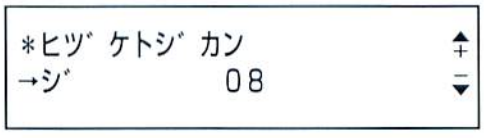


❷ プログラムスイッチ ◉ を押すとプログラムディスプレイのカーソル（■）が矢印（→）に変わります。

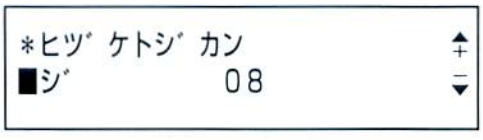


❸ プラススイッチ ◉ またはマイナススイッチ ◉ を押して設定したい数値に合わせてください。

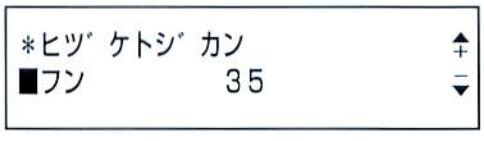
- プラススイッチ ◉ を押すと数値が大きくなります。
- マイナススイッチ ◉ を押すと数値が小さくなります。



❹ OKスイッチ ⓞⓚ を押して変更を確定してください。プログラムディスプレイの矢印（→）がカーソル（■）に戻ります。
図の場合、「時」が16から8に変更されました。

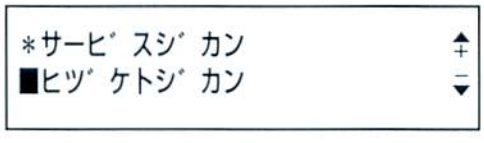


❺ マイナススイッチ ◉ を押して、「分」の項目に移動してください。同様の手順で「分」の変更をおこなってください。



6 設定した曜日·時刻を確定してプログラムモードを終了します。

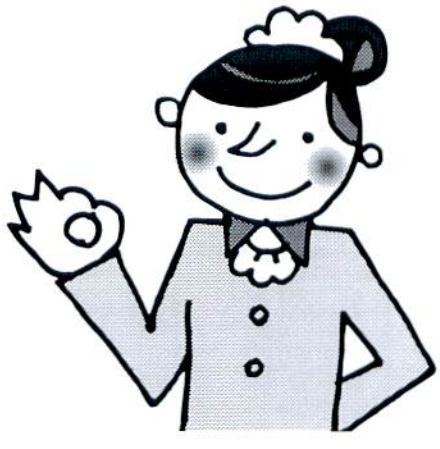
❶ リセットスイッチ ◉ を押してください。
“サービスジカン” の最初の表示に戻ります。



❷ もう一度リセットスイッチ ◉ を押してください。プグラムモードの最初の表示に戻ります。

❸ もう一度リセットスイッチ ◉ を押して設定を確定してください。

❹ プログラムディスプレイに設定した曜日と時刻が表示されます。
プログラムモードから出て通常の状態に戻ります。



自動ON·OFFタイマーと定休日の設定

●自動ON·OFFタイマーを設定すると、自動ONの時刻に電源が入り、自動的にボイラータンクへの給水をおこない、ウォーミングアップ(昇温)をして待機します。また、自動OFFの時刻になると、電源が切れます。(機器本体には通電されたままです。ディスプレイには「マシンオフ」と表示されます。) 自動OFFの時刻を設定する場合は終業時の洗浄に要する時間をプラスして設定をおこなってください。洗浄には電源が入っていないとおこなえないものがあります。
(詳しくは第3章「洗浄・清掃のしかた」を参照してください。)

●自動ON·OFFタイマーを使用しない場合はON·OFFを同じ時刻に設定しておきます。

●自動ON・OFFタイマーを使用する場合、定休日の設定をすると、定休日には自動ON·OFFタイマーが機能しなくなります。

●お願い●

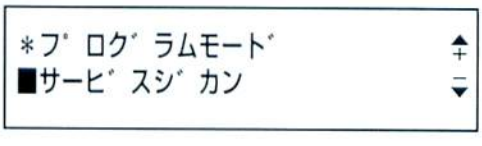
自動ON・OFFタイマーを使用する場合は、電源スイッチは「OFF(切)」にしないでください。

1 本体が通常の状態であることを確認します。

プログラムディスプレイに右のような表示(曜日・時刻)が出ていることを確認してください。

2 プログラムモードに入ります。

タイマー設定スイッチを押してください。
プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。

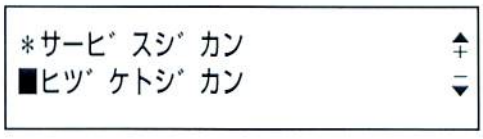


●お願い●

プログラムモードで「ITALIANO」「ENGLISH」など他の言語を選択しないでください。ディスプレイ表示される言語が変更されます。

3 自動ON·OFFになる時刻を設定します。

❶ プログラムスイッチ ◉ を押して「サービスジカン」を選択してください。
プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。

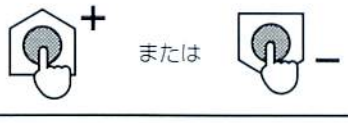


❷ マイナススイッチ ◉ を押して「ジドウON」の項目を表示させてください。

❸ プログラムスイッチ ◉ を押すと、プログラムディスプレイのカーソル（■）が矢印（→）に変わります。

❹ プラススイッチ ◉ またはマイナススイッチ ◉ を押して設定したい時刻に合わせてください。
まず“時”を変更します。

- プラススイッチを押すと時刻が進みます。押しつづけると“時”が速く進みます。
- マイナススイッチを押すと時刻が戻ります。押しつづけると“時”が速く戻ります。



設定したい“時”を表示させたらプログラムスイッチ ◉ を押してください。
“分”の表示が点滅します。同様にして設定したい“分”を表示させてください。OKスイッチ ⓞⓚ を押すと“分”の変更が確定して“時”の点滅に戻ります。

自動ON·OFFタイマーと定休日の設定

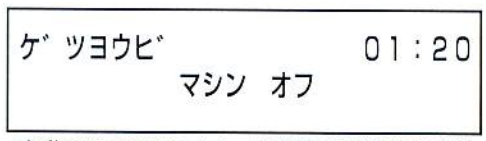
❺ OKスイッチ ⓞⓚ を押して時刻を確定してください。プログラムディスプレイの矢印（→）がカーソル（■）に戻ります。
これで「ジドウON」の設定が完了しました。

●マイナススイッチ ◉ を押して「自動OFF」の項目に移動してください。同様の手順で「ジドウOFF」の設定をおこなってください。

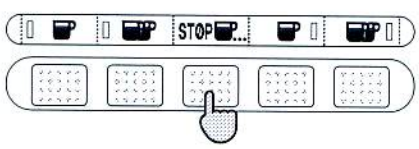
●自動ON·OFFタイマーを使用しない場合はON·OFFを同じ時刻に設定しておいてください。

メモ

- 自動ON·OFFタイマーで設定した電源OFFの時間帯に機械を操作するときは、メニュースイッチ部の『スタート/ストップスイッチ』を押してください。
ウォーミングアップが始まり、完了後、抽出可能な状態になります。
- もう一度「マシンオフ」（自動ON·OFFタイマーで設定した電源OFFの時間帯）の状態に戻すには、一度本体の電源スイッチをOFFにして、再度電源スイッチをONにしてください。



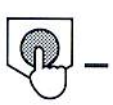
自動ON·OFFタイマー設定時の電源OFF状態

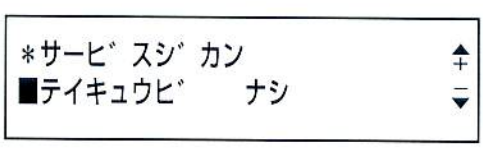


「マシンオフ」時に機械を使用する場合

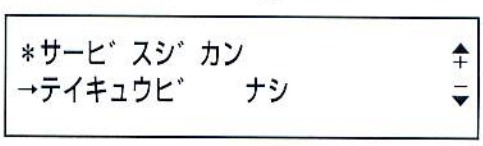
4 定休日を設定します。

❶ マイナススイッチ ◉ を押して「テイキュウビ」の項目に移動してください。





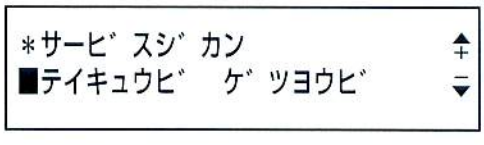
❷ プログラムスイッチ ◉ を押すと、プログラムディスプレイのカーソル（■）が矢印（→）に変わります。



❸ プラススイッチ ◉ を押すごとに曜日が変わります。設定したい曜日が表示されるまでプラススイッチを押してください。
（マイナススイッチ ◉ を押すと、曜日が戻ります。）

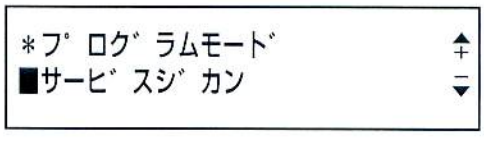
1回押すごとに表示が右記のように変わります。

❹ 設定したい曜日が表示されたらOKスイッチ ⓞⓚ を押して確定してください。
プログラムディスプレイの矢印（→）がカーソル（■）に戻ります。



5 設定した定休日を確定してプログラムモードを終了します。

❶ リセットスイッチ ◉ を押してください。
プログラムモードの最初の表示に戻ります。



❷ もう一度リセットスイッチ ◉ を押して設定を確定してください。

❸ プログラムディスプレイに日付と時刻が表示されます。
プログラムモードから出て、通常の状態に戻ります。

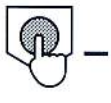
抽出回数の管理

コーヒーの抽出杯数のほか蒸気スイッチを使用して蒸気を出した回数、熱湯を出した回数の管理をします。前回カウンターをリセットしてから現在までに何杯のコーヒーを抽出したかを確認できます。また、機械が稼働してから現在までの累積抽出動作回数を確認できます。

1 抽出回数の確認のしかた

情報メニュースイッチを押してください。
プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。

マイナススイッチ ⊖ を押すごとに、次ページの項目が表示されます。

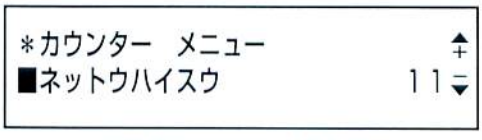


●各項目は以下のことをあらわしています。

コーヒーハイスウ GR1 GR2	●エスプレッソ抽出器ごとの抽出杯数を表示します。GR1は1連目、GR2は2連目です。 ●前回リセットしてから現在までのエスプレッソ抽出杯数です。 ●2杯取りスイッチに設定されているメニューは、コーヒーを2杯抽出したものとしてカウントされます。
ミルクハイスウ	●本機では使用しません。
ネットウハイスウ	●前回リセットしてから現在までの熱湯杯数です。
スチーム　カイスウ	●本機では使用しません。
スチーム　カイスウTS	●本機では使用しません。
スチーム+エアー　カイスウTS	●本機では使用しません。
コーヒーハイスウ	●すべてのエスプレッソ抽出器からこれまでに抽出したコーヒー杯数の合計です。 ●2杯取りスイッチに設定されているメニューは、コーヒーを2杯抽出したものとしてカウントされます。 **●この項目は数値をリセットできません。**
チュウシュツカイスウ	●すべてのエスプレッソ抽出器の抽出回数の合計です。 ●2杯取りスイッチに設定されているメニューも1回の抽出としてカウントします。 **●この項目は数値をリセットできません。**

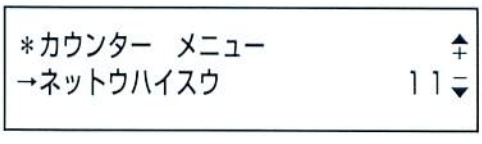
2 各抽出杯数のリセットのしかた

❶ プラススイッチ ◉ またはマイナススイッチ ◉ を押してリセットしたい項目を表示させてください。

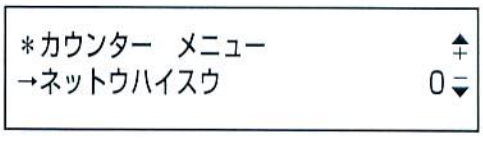


熱湯杯数をリセットする場合

❷ プログラムスイッチ ◉ を押すと、プログラムディスプレイのカーソル（■）が矢印（→）に変わります。

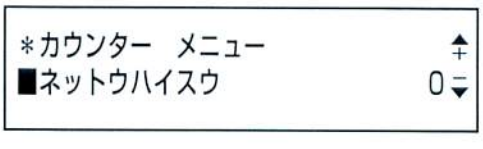


❸ プラススイッチ ◉ またはマイナススイッチ ◉ を押すと、数字が“0”に戻ります。



❹ OKスイッチ ⓞⓚ を押してリセットを確定してください。
プログラムディスプレイの矢印（→）がカーソル（■）に戻ります。

他にもリセットしたい項目があれば、同様の手順でリセットをおこなってください。



❺ リセットスイッチ ◉ を押すとプログラムディスプレイに曜日と時刻が表示され、通常の状態に戻ります。

コーヒー抽出プログラムの設定

ここでは、コーヒーの抽出をおこなう際のお湯の量や熱湯スイッチを押した際の熱湯量の設定方法について説明しています。

抽出プログラムの設定量は、2通りの方法があります。
- ●「プログラムモード」を使い数値で湯量を設定する方法
- ●抽出スイッチを使って、抽出量を確認しながら設定する方法

抽出プログラムは、本機の据付け後の味合わせの際に、お買い上げ店の担当者が、お客様のご希望に合わせて設定いたします。本機のご利用中にお客様のご都合により抽出プログラムを変更される場合は、この章の手順にしたがって設定をおこなってください。

プログラムモードで設定する場合

ここでは、プログラムモードを使って抽出プログラムを設定する方法について説明します。

プログラムモードの入りかた

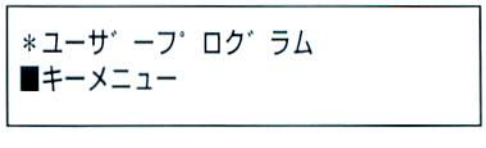
1 本体が通常の状態であることを確認します。

プログラムディスプレイに右のような表示（曜日・時刻）が出ていることを確認してください。

2 プログラムモードに入るスイッチを押します。

プログラムスイッチ ◉ を押してください。
プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。

これでプログラムモードに入りました。



エスプレッソコーヒー抽出量の変更

1 本体がプログラムモードに入っていることを確認します。

プログラムディスプレイに右のような表示が出ていることを確認してください。

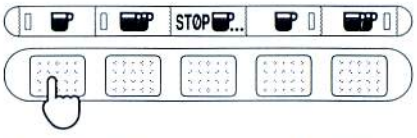
```
*ユーザ゛ープ゛ログ゛ラム
■キーメニュー
```

2 プログラムの設定を変更するメニューのスイッチを押します。

❶ プログラムの設定を変更するメニューのスイッチを押してください。

1連目、2連目とも操作は同じです。

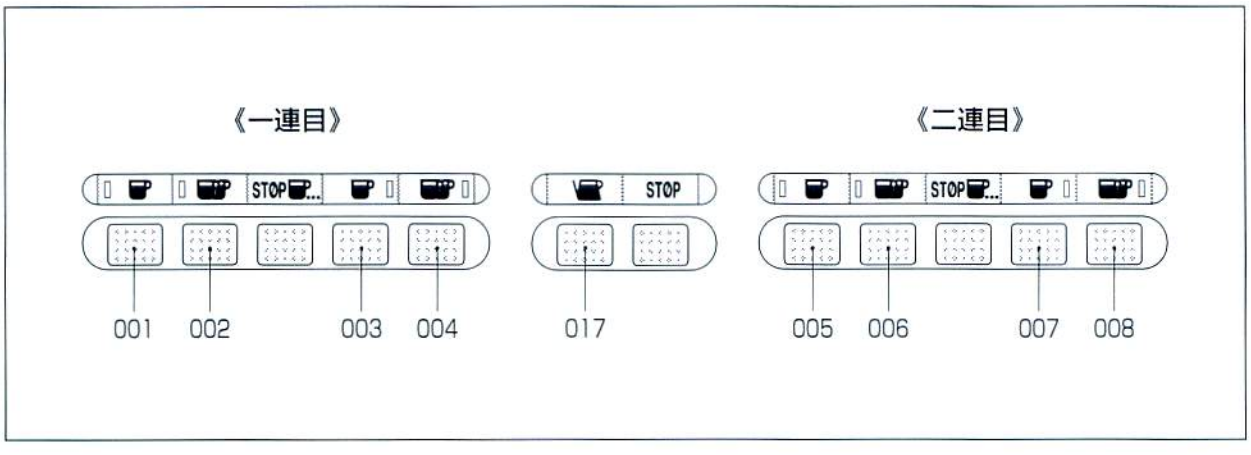
〔例〕



・イタリアンエスプレッソ（1杯取り）のプログラム設定変更をおこなう場合。

❷ プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。
ディスプレイ上段の“001”は抽出スイッチの番号を表しています。各抽出スイッチの番号は下図のようになっています。

```
  センタク シテクダ゛サイ 001
■コーヒーチュウシュツリョウ 130
```



3 コーヒー抽出量を変更します。

❶ プログラムスイッチ ◉ を押すと、プログラムディスプレイのカーソル（■）が矢印（→）に変わります。

```
  センタク  シテクダ゛サイ  001
→コーヒーチュウシュツリョウ  130
```

❷ プラススイッチ ◉ またはマイナススイッチ ◉ を押して、「コーヒーチュウシュツリョウ」の数値を変更してください。

```
  センタク  シテクダ゛サイ  001
→コーヒーチュウシュツリョウ  100
```

- コーヒー抽出量は、設定値“10”に対して約3mLです。
- 上の画面の「コーヒーチュウシュツリョウ 100」は約30mLの抽出量になります。
  （コーヒー抽出量はコーヒー豆の量やメッシュの粗さなどの条件によって異なります。上記の数値はあくまで目安です）
- 工場出荷時の設定値は以下のようになっています。

メニュー	設定値
イタリアンエスプレッソ小（1杯取り）	130
イタリアンエスプレッソ小（2杯取り）	230
イタリアンエスプレッソ大（1杯取り）	240
イタリアンエスプレッソ大（2杯取り）	440

❸ OKスイッチ ⓞⓚ を押して数値を確定してください。
プログラムディスプレイの矢印（→）がカーソル（■）に戻ります。
これでコーヒー抽出量の変更が完了しました。

```
  センタク  シテクダ゛サイ  001
■コーヒーチュウシュツリョウ  100
```

4 変更した設定を確定してプログラムモードを終了します。

❶ リセットスイッチ ◉ を押してください。
プログラムモードの最初の表示に戻ります。

```
＊ユーザ゛ープ゛ログ゛ラム
■キーメニュー
```

❷ もう一度リセットスイッチ ◉ を押して設定を確定してください。

❸ プログラムディスプレイに日付と時刻が表示されます。プログラムモードから出て、通常の状態に戻ります。

```
カヨウビ゛                08:57
```

熱湯抽出量の変更

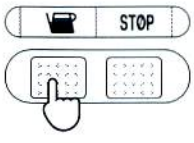
1 本体がプログラムモードに入っていることを確認します。

プログラムディスプレイに右のような表示が出ていることを確認してください。

```
＊ユーザ゛ーフ゜ログ゛ラム
■キーメニュー
```

2 『熱湯スイッチ』を押します。

❶『熱湯スイッチ』を押してください。



❷ プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。

```
  センタク シテクダ゛サイ 017
■チュウシュツジ゛カン     05.0s
```

3 熱湯抽出量を変更します。

❶ プログラムスイッチ ◉ を押すと、プログラムディスプレイのカーソル（■）が矢印（→）に変わります。

```
  センタク シテクダ゛サイ 017
→チュウシュツジ゛カン     05.0s
```

プログラムモードで設定する場合

❷ プラススイッチ ◉ またはマイナススイッチ ◉ を押して設定したい数値に合わせてください。

```
  センタク  シテクダ゛サイ  017
→チュウシュツジ゛カン      07.0s
```

熱湯の抽出量は、設定値"1"(秒)に対して約50mLです。
左の画面では抽出量を約350mLに設定したことになります。
熱湯の抽出量はボイラー圧や水圧などの条件によって異なります。上記の数値はあくまで目安です。

❸ OKスイッチ ⓞⓚ を押して数値を確定してください。プログラムディスプレイの矢印(→)がカーソル(■)に戻ります。
これで熱湯抽出量の変更が完了しました。

```
  センタク  シテクダ゛サイ  017
■チュウシュツジ゛カン      07.0s
```

4 変更した設定を確定してプログラムモードを終了します。

❶ リセットスイッチ ◉ を押してください。
プログラムモードの最初の表示に戻ります。

```
＊ユーザ゛ープ゛ログ゛ラム
■キーメニュー
```

❷ もう一度リセットスイッチ ◉ を押して設定を確定してください。

❸ プログラムディスプレイに曜日と時刻が表示されます。プログラムモードから出て、通常の状態に戻ります。

```
カヨウビ゛              08:57
```

抽出スイッチを使用して設定変更する場合

ここでは、抽出スイッチを使って、実際に抽出量を確認しながらエスプレッソコーヒーまたは熱湯抽出量の変更をおこなう方法について説明します。

エスプレッソコーヒー抽出量の変更

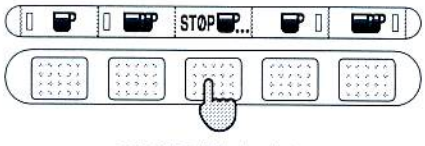
1 設定変更をするメニューの抽出の準備をします。

❶ 実際に使用する量のコーヒー粉を入れたエスプレッソ抽出容器を抽出器にセットします。

❷ 抽出器の下にコーヒーカップを置きます。

2 設定モードに入ります。（設定方法は1連目、2連目とも同じです）

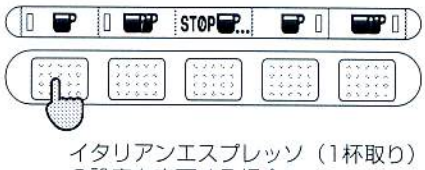
● 『スタート／ストップスイッチ』を約8秒間長押ししてください。電子ブザーが鳴り、設定可能なスイッチが点滅して設定変更モードに入ります。



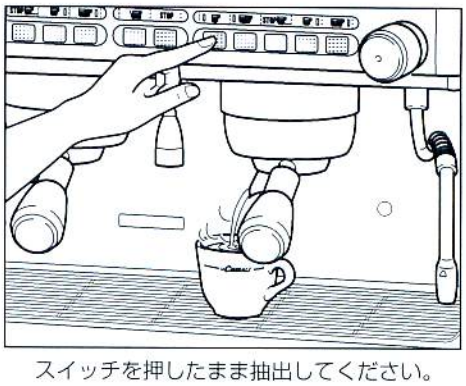
● 8秒間長押しします。

3 コーヒー抽出量を変更します。

❶ 設定変更をするメニューの抽出スイッチを押します。このとき、抽出スイッチを<u>押したまま</u>抽出してください。



イタリアンエスプレッソ（1杯取り）の設定を変更する場合



スイッチを押したまま抽出してください。

抽出スイッチを使用して設定変更する場合

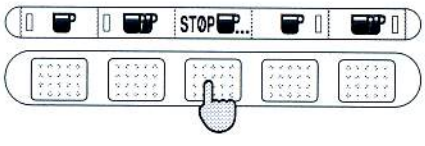
❷お好みの量までコーヒーが出たら、抽出スイッチから指を離してください。抽出が止まり、この量が新しい抽出量として設定されます。

メモ

指を離してからも、「スタート／ストップスイッチ」を押して変更を確定するまでは、プログラムモードでの設定変更と同様に、プラススイッチまたはマイナススイッチを押して抽出量を変更することできます。プログラムディスプレイには抽出量が表示されます。

センタク　シテクダ゛サイ　005
→コーヒーチュウシュツリョウ　140

❸『スタート／ストップスイッチ』を押してください。電子ブザーが止まり、変更が確定して通常の状態に戻ります。

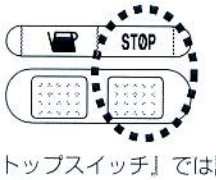


熱湯抽出量の変更

●（エスプレッソコーヒー抽出量の変更）の手順 ❷、❸ と同様に、設定変更をする『熱湯スイッチ』を押して抽出量を変更してください。

メモ

『熱湯ストップスイッチ』を押しても設定モードに入ることはできません。1、2連目の『スタート／ストップスイッチ』を8秒間長押ししてください。



『熱湯ストップスイッチ』では設定モードに入れません。

6 据付けについて

据付け時の注意事項

⚠警　告

●据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

専門業者

●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。）

アース工事

●本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

●電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。

電気工事

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。

屋外禁止

●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

●電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁止

●機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

やけどや感電の恐れがあります。

接触禁止

据付け時の注意事項

●異常時は電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF（切）』にして、すぐにお買上げ店に連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。

専用電源切

⚠注　意

●床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平据付

●本機の周囲は、壁およびものから100㎜以上空けること

熱がこもると電子制御部品に影響をおよぼし、故障の原因になることがあります。

周囲空ける

●直射日光の当たる所や、周囲の温度が32℃を超える高温の場所には据え付けないこと

電気部品の故障の原因となります。

高温禁止

●水をこぼしてもよい所に据え付けること

使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防水処置をしてください。

防水処置

●熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと

熱で本体が損傷して故障の原因になります。

熱器具禁止

●凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと

機械の故障の原因、および給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。凍結の恐れのある場所への据え付けの場合は、お買上げ店にご相談ください。

相談

●給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること

他の水は、健康障害の原因になることがあります。

飲料水

●水道圧力は、流れている状態で0.15MPa以上で使用すること

水圧が低いと、機械は正常に動作しません。0.15MPa未満の場合は、お買上げ店にご相談ください。

適正水圧

据付工事

はじめに、下記の配管用付属品がそろっているか確認してください。

配管用部品

1. ステンレスフレキシブルホース（0.25m）…… 1本
2. 減圧弁（ブッシング3/8×1/2、ニップル1/2付）…… 1個
3. 排水ホース …… 1本
4. 給水ホース（ニップル3/8×1/2、パッキン3/8付）…… 1本

※給水ホースは機械に取り付け済です。

〈別売品〉

1. 浄水器ヘッド（エバピュアQC7型）…… 1個
2. 浄水器カートリッジ（7-MHPS）…… 1個
3. ステンレスフレキシブルホース（1.5m）…… 1本

据付前の準備

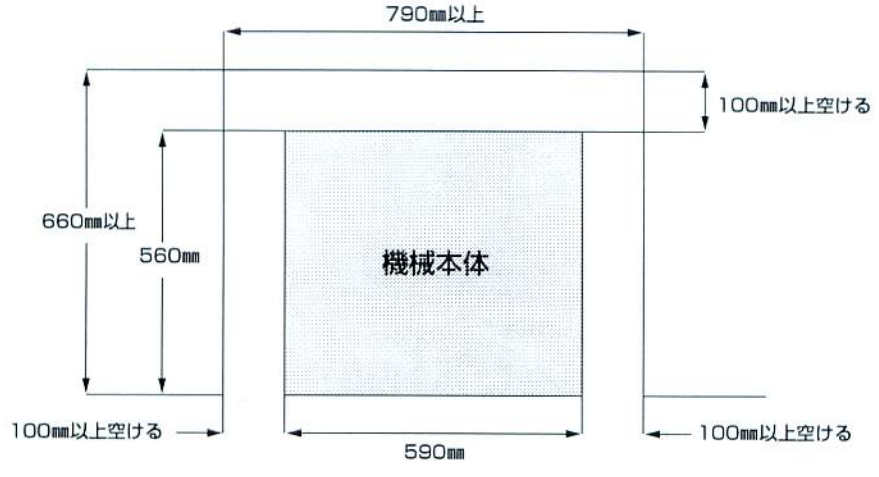
●本機を据え付けされるには、事前に下記の設備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

据付台

❶ 据付台の下には、浄水器、配管設備のスペースが必要です。
据付図を参考にスペース（面積）を確保してください。

❷ 機械の周辺は、壁面から100㎜以上離してください。

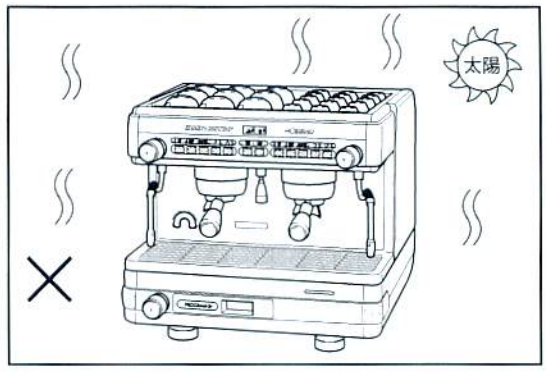
据付図



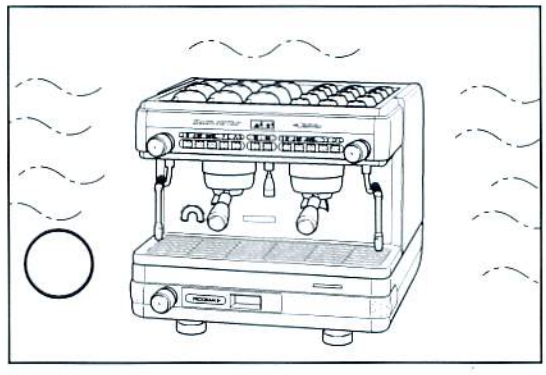
据付工事

❸ 据え付ける場所として、次のことに注意してください。

1) 直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が32℃を超える高温の場所には据え付けないでください。
高温になると、電気部品の故障の原因となります。

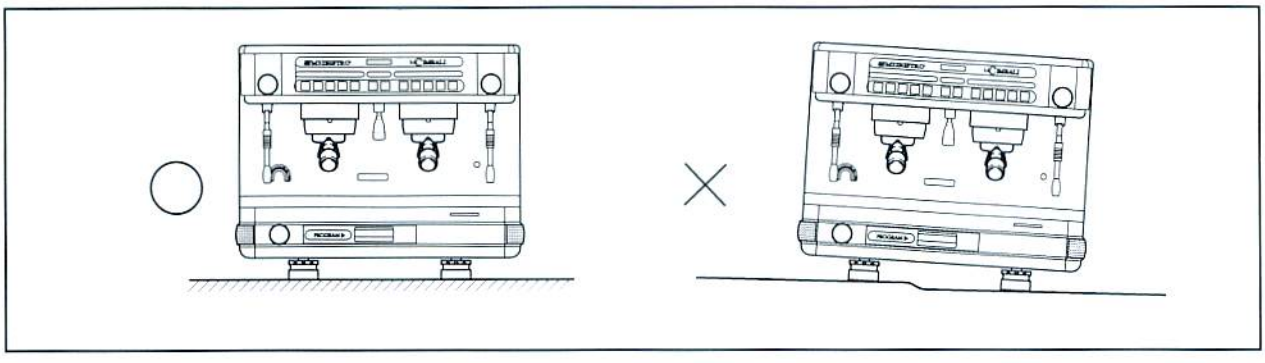


2) 風通しの良い所に据え付けてください。
風通しが悪いと蒸気がこもり、機械の寿命を短くしたり漏電の原因となります。

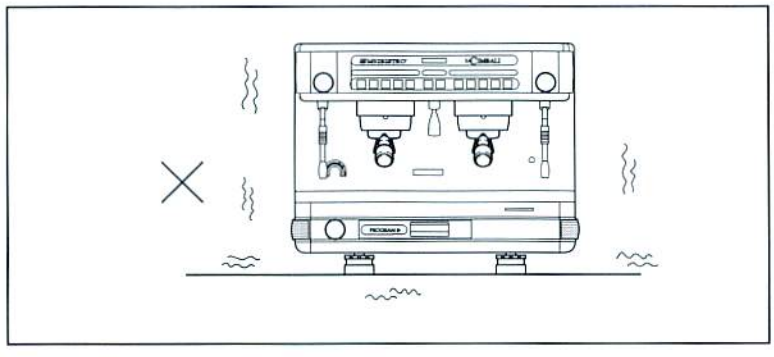


3) 水をこぼしてもよい所へ据え付けてください。
使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に散ることがありますので、濡れると不都合な所では、防水処置をしてください。

4) 丈夫で凹凸のない、水平な台へ据え付けてください。



5) 振動のない所へ据え付けてください。



水　道

❶ 水道栓は、ステンレスフレキシブルホースが取り付けられるように、コックの先に「G1/2オスネジ」付きのものを用意してください。

❷ 水道圧力は、流れている状態で0.15MPa以上必要です。
0.15MPa未満は、機械の調整を要しますので、お買上げ店にご連絡ください。

電　気

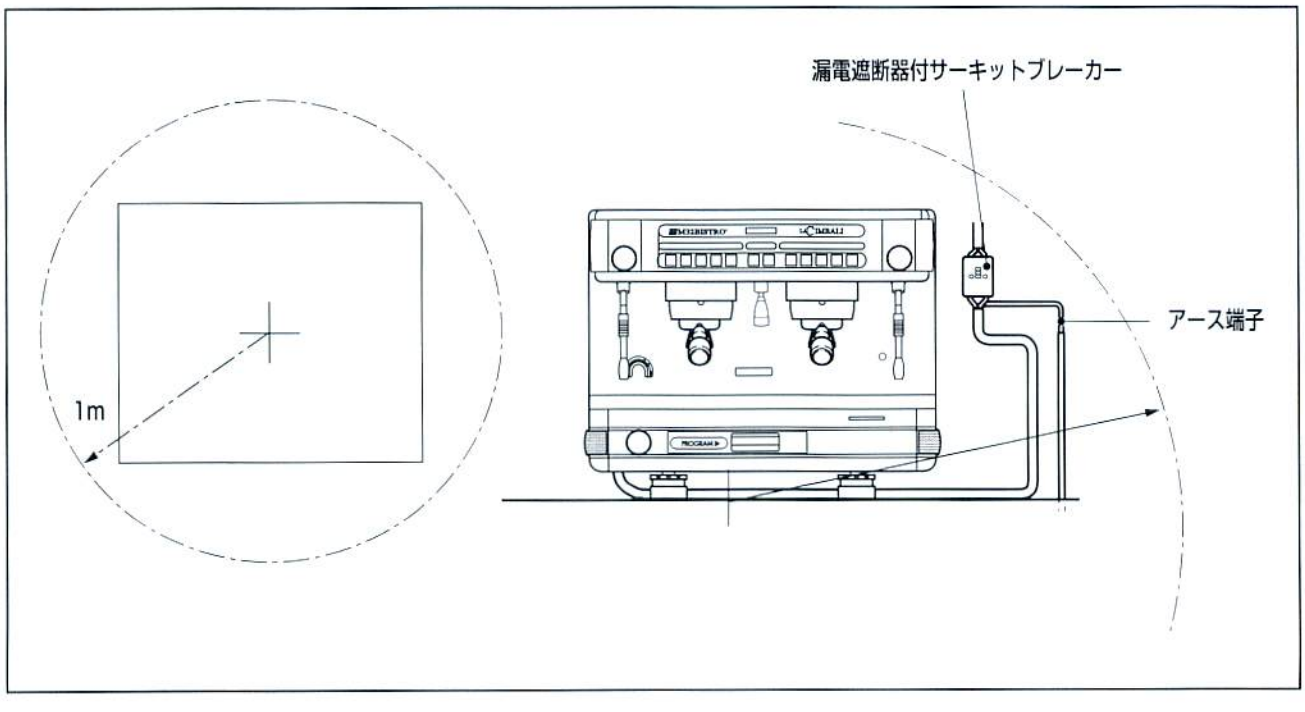
❶ 機械本体設備容量
単相200V 50/60Hz　3.8kVA 19A

❷ 本機の電源は、必ず専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備を設けてください。

❸ アース端子は、必ず設けてください。
アースは、D種接地工事が必要です。電気工事店に工事を依頼してください。

❹ 電源に近いところ（できれば1m以内）へ据え付けてください。
電源コードは約1.5mです。

❺ 本機の電源コードを電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください。



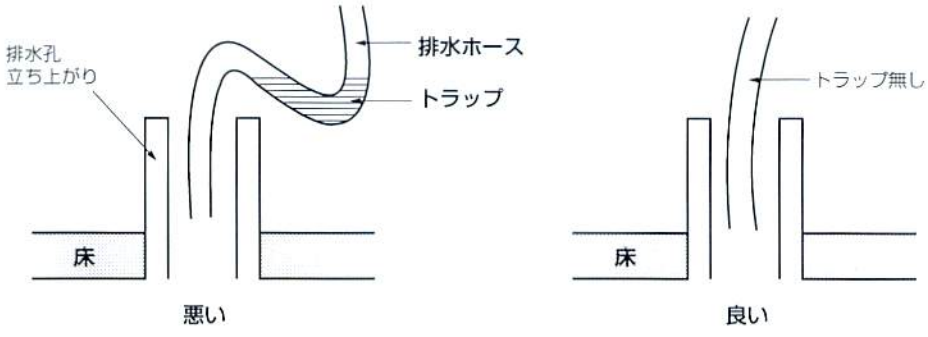
排水孔

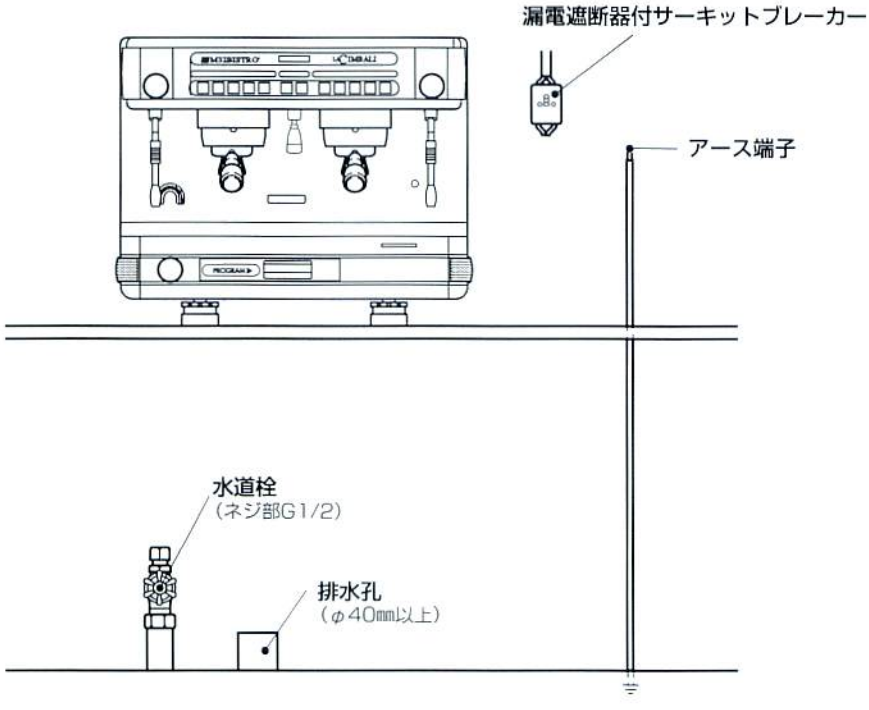
❶ 排水孔、または排水溝は、機械近くの低い所に設けてください。

❷ 排水孔の大きさは、直径40㎜以上にしてください。

❸ 立ち上がりは、できるだけ低くしてください。
立ち上がりが高いと、トラップが発生し、排水ができなくなります。

❹ 熱湯を流すことがありますので、耐熱性のある排水設備を設けてください。



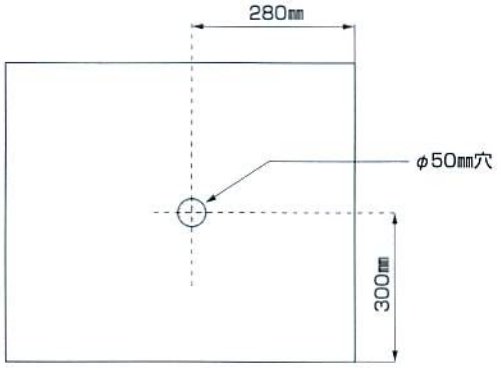


据付け

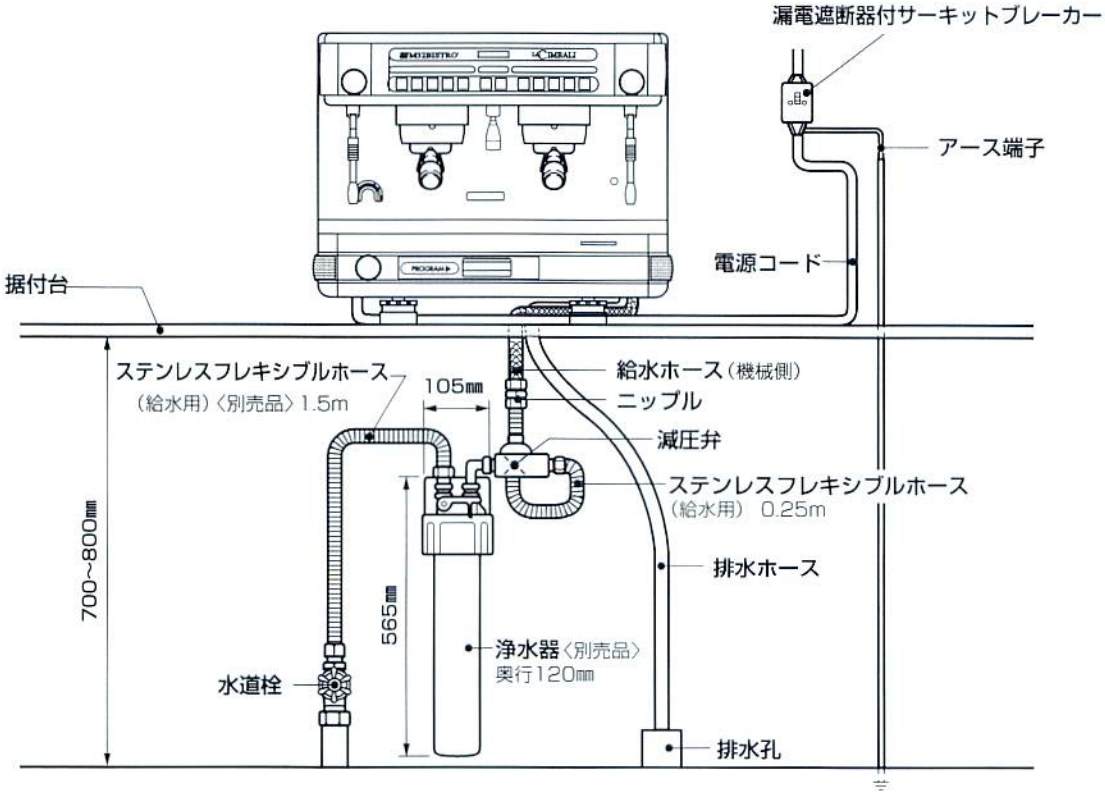
レイアウト

❶ 下図は、据付台に配管穴をあけた理想的な据え付け方法です。
据付台には、平面図に記載の寸法で穴をあけ、正面図のように配線および配管をしてください。

平面図



正面図

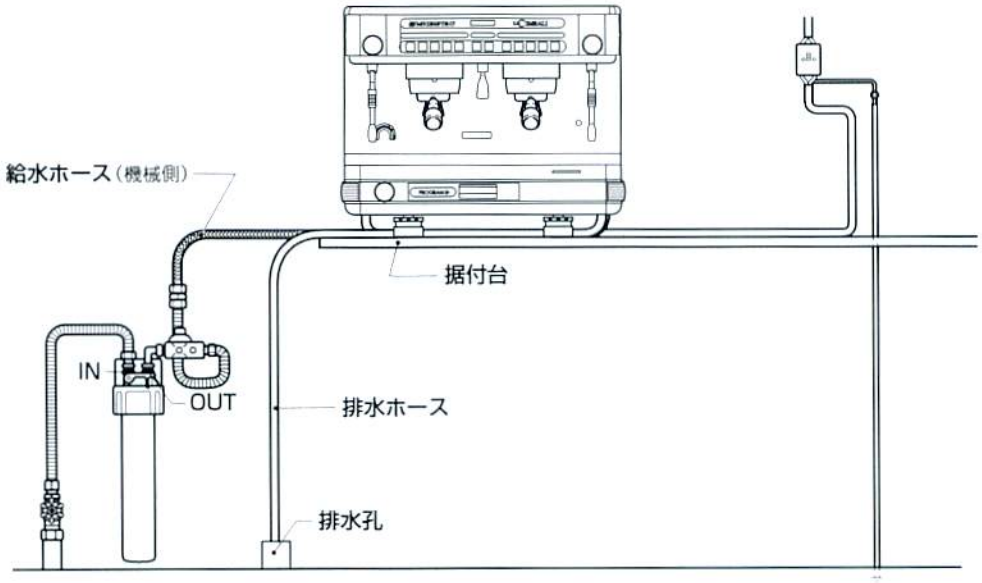


❷ 下図は、据付台に穴加工ができない場合の据え付け方法です。

●お願い●

ドレンパンからの排水ホースは、絶対にトラップをつくらないようにし、できるだけ傾斜を大きくとってください。

【据付台に穴があけられない場合】



据付・接続

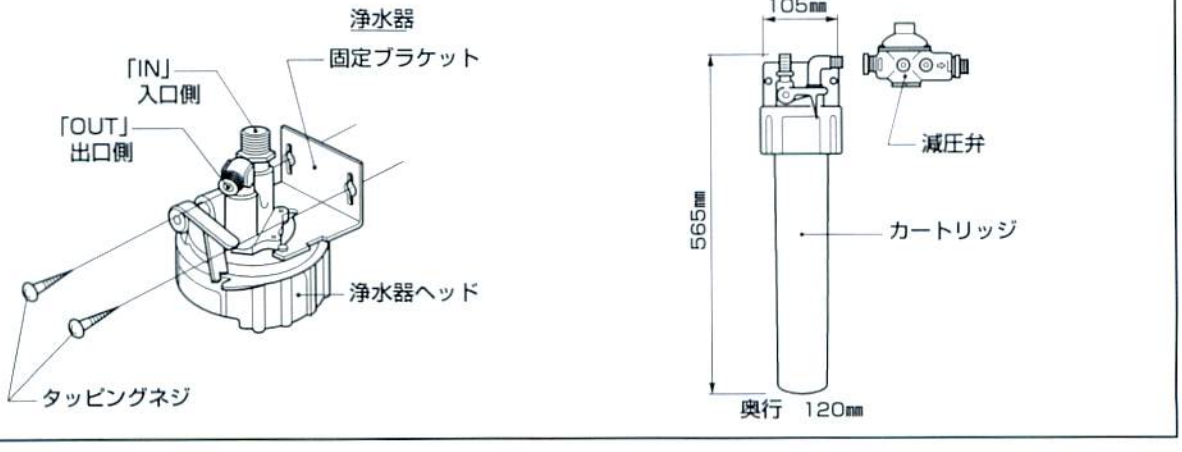
全体レイアウトが決まったら、以下の要領で据付·接続をしてください。

❶ 浄水器〈別売品〉

● 浄水器を取り付けないとコーヒーの味に影響を与えます。また、水道水内のゴミ等により、機械故障の原因となることがありますので、必ず浄水器をつけてください。

1）浄水器ヘッドの取り付け方

浄水器ヘッドの固定ブラケットを、据付台下の壁面にタッピングネジか釘で取り付けてください。



2) **カートリッジを浄水器ヘッドに取り付けてください。**

浄水器カートリッジの取り付け方（取り外し方）は、カートリッジに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

3) **浄水器内部の洗浄方法**

浄水器は、機械に取り付けられている給水ホースに接続する前に約3分間水を流して内部を洗浄してください。

①水道栓と、浄水器「IN」側をステンレスフレキシブルホース（1.5m）で接続してください。

②浄水器「OUT」側に減圧弁の「IN」側をねじ込んで取り付け、減圧弁の「OUT」側にステンレスフレキシブルホース（0.25m）を接続し、ホースのもう一方の端を排水孔または、排水溝へ差し込んでください。

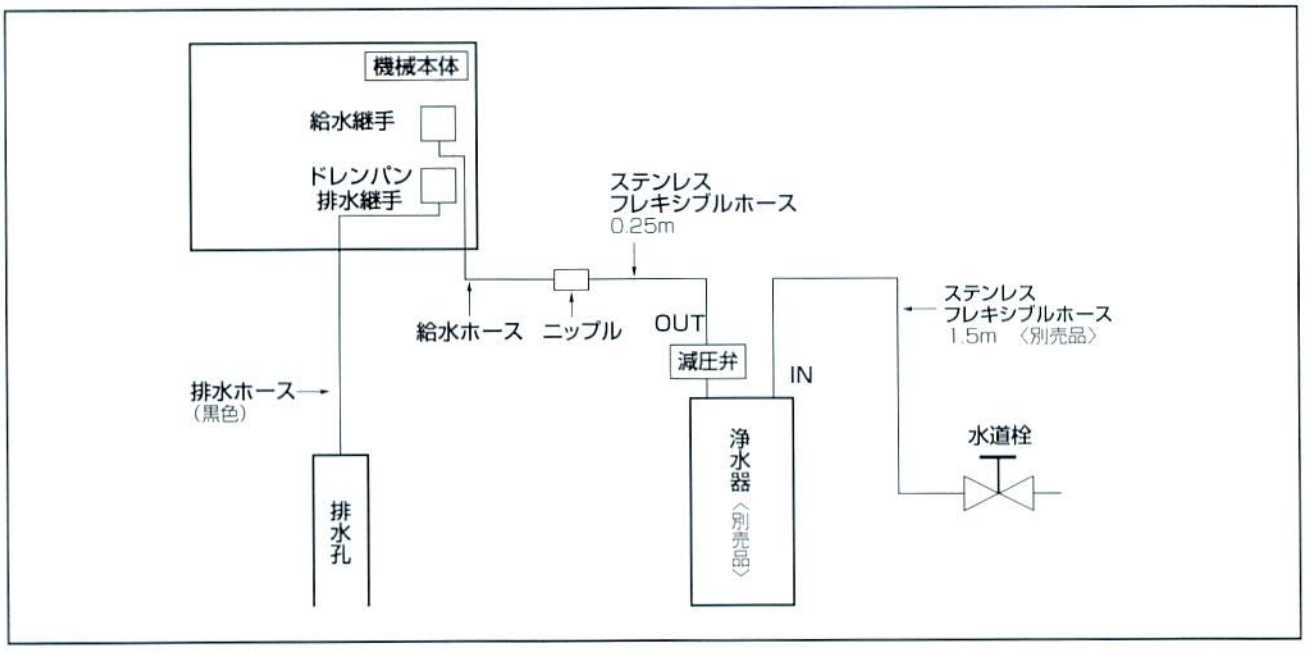
③水道栓を開いて、約3分間水を出し、内部のゴミやホコリなどを流してください。

●浄水器は条件により異なりますが、半年または1年毎にカートリッジを交換してください。交換につきましては、お買上げ店にご相談ください。

❷ 給排水の配管

1) 内部の洗浄が終わった浄水器「OUT」側の減圧弁に接続されたステンレスフレキシブルホース（0.25m）と、機械に取り付けられている給水ホースのもう一方の端とを付属のニップルで接続してください。

2) 機械のドレンパン排水継手に、排水ホースを接続し、もう一方の端を排水孔に差し込んでください。



●お願い●

配管の際は、ネジ部を必要以上に締め付けずに、水が漏れない程度にしてください。

❸ 配線

電源コードを、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカー等に直接接続してください。

アース線（緑色の線）をアース端子に接続してください。

●据付けが完了しましたら、水道の元栓を開け、配管部に水漏れがないか確認してください。

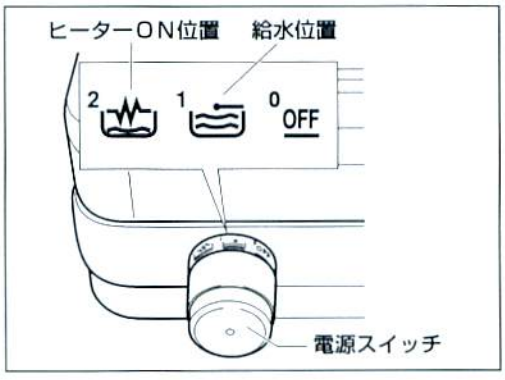
据付後の動作確認

●水道の元栓が開いているか確認してください。

●本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を『ON（入）』にしてください。

●『電源スイッチ』を「1」（給水位置）に回してください。
ボイラータンク給水ランプ（橙）が点灯し、自動的に給水が始まります。
適量範囲まで給水されれば、自動的に停止します。

●『電源スイッチ』を「2」（ヒーターON位置）に回してください。
ヒーターに通電されてボイラータンク内の水を沸かします。



約15分経過すると、ボイラータンクの湯が沸き、熱湯が使用できます。
各スイッチを押して、抽出や熱湯、蒸気が出ることを確認してください。

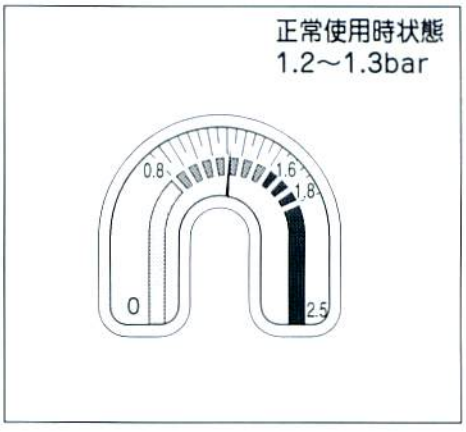
●『電源スイッチ』を切るときは、「0」（OFFの位置）に回してください。

これで据付け完了です。

点検について

● **ボイラータンク用圧力計の指針が適正範囲内にありますか？**

本機は、ボイラータンク上部に安全弁がついており、ボイラータンク内の圧力が上がりすぎると、自動的に安全動作をおこないますが、圧力計の指針が異常上昇し、適正範囲外（1.6bar以上）になるときは、危険ですからすぐに電源を切り、機械を止めてお買上げ店へご連絡ください。



仕　様

品　名	エスプレッソコーヒーマシン「ビストロ」
型　式	M32 BI-DT/2 (S)
タ　イ　プ	エスプレッソ2連 + 蒸気2連 + 熱湯
外形寸法	幅 590 · 奥行 560 · 高さ 475㎜ （突起物を含む奥行 580㎜）
質　量	62kg
電　源	単相 200V　50/60Hz
電　流	16A
消費電力	3.2kW
エスプレッソ抽出能力	320杯/h　30mL/1杯で2杯取り2連時
熱湯取出能力	30L/h
蒸気取出能力	連続
コーヒー抽出温度	約85℃
熱湯温度	約90℃（水温20℃の場合）
昇温時間	約15分（水温により多少異なります。）
水道圧力	0.15～0.60MPa
電源コード	長さ：約1.5m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品			
	1.	エスプレッソ抽出容器（2人用）	2個
	2.	エスプレッソ抽出容器（1人用）	1個
	3.	エスプレッソストレーナー（2人用）	2個
	4.	エスプレッソストレーナー（1人用）	1個
	5.	タンパー	1個
	6.	洗浄ブラシ（エスプレッソ抽出器洗浄用）	1本
	7.	エスプレッソ抽出器洗浄キャップ	2個
	8.	酸素系漂白剤「テルキッチン」	1個
	9.	ロングアジャスト脚	4本
	10.	取扱説明書（商品保証書付）	1冊

メモ

株式会社エフ・エム・アイ

本　　社：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel. 06(6969)9393
東京支店：〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目8番14号 Tel. 03(3436)9470

営業所
札　幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel. 011(813)8651
仙　台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel. 022(238)5711
名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel. 052(361)7891
広　島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel. 082(876)1855
福　岡：〒816-0093 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel. 092(481)2931

サービスステーション
盛　岡：〒020-0173 岩手郡滝沢村滝沢字巣子962-24-105 Tel. 019(694)3900
金　沢：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel. 076(243)7810
四　国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel. 0875(57)5161
鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel. 099(263)8281
東京サービスファクトリー：〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目11番7号 Tel. 03(3432)4955

ホームページ　http://www.fmi.co.jp/

PB